

筑波大学新聞

第355号

編集責任 筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699
E-mail shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

注目記事

- 筑波大の若手教員 3割が目標
力作揃う卒業・修了制作展
- 自転車・梶原 世界選手権優勝
- 筑波大生ロケット打ち上げ成功
- 追越学生宿舎でばや騒ぎ

14 14 13 5 2

特集

誰一人取り残さない
筑波大とSDGs 10・11

ミニ特集

活躍する筑波大生
T-ACTに迫る 7

筑波お話し

先日、クレジットカードを落としたり、コンビニで利用後に徒歩で帰宅し、気がついた。あわてて来た道を戻りながら探し、コンビニの店員にも聞いてみたが、見つからない。利用停止するしかない。あきらめかけた時、先輩から電話が入った。カードを見つけた人がいると。拾い主はカードの署名をネット検索し、本紙記者だと突き止めて編集部に連絡してくれた。ほっとした。日本人はおもてなしの心がある。だからこそ互いを思いやり、客人に心配りする。落とし物が戻ってくるのはその一例だ。滝川クリステルさんは7年前、国際オリンピック委員会(IOC)総会でそうスピーチし、東京五輪の招致につなげた。だが、新型コロナウイルスの感染が拡大。誤ったうわさがきっかけのディッシュやトレットペーパー、買い占め、マスクの高額転売など、おもてなしとはかけ離れたニュースが続く。東京五輪の1年延期も決まった。咳エチケットや集会自粛などの予防・感染対策も、思いやりの心があつてこそ成り立つ。独メレル首相は今回の事態に「私たちの団結、理性、お互いを思いやる心が試されている」と訴えたという。日本こそが、世界のお手本になつてほしい。▼カードを落とし、財布を拾った。急いでいたが、落とし主の不安な気持ちを思い、コンビニの店員に届け出を頼んだ。

授業開始は4月27日

新型コロナウイルス感染拡大で

2020年度春学期の新たな学年暦

(青が授業日・赤が休日)

日	月	火	水	木	金	土
4月19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
26日	27日	28日	29日	30日		
5月3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日
24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
31日						
6月1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日	30日	31日				
7月1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
29日	30日	31日				
8月1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日

4月 27日 授業開始 (昭和の日)
29日 授業日

6月 29日~7月3日 春AB試験日
7月 23日 授業日(海の日)
24日 授業日(スポーツの日)
8月 3~7日 春ABC試験日

(筑波大の資料から作成)

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、筑波大は3月26日、今年度の授業開始日を当初の4月8日から4月27日に遅らせることを決めた。春学期に土曜授業を8週連続で8回行い、祝日も3回授業を実施する。4月5日に予定されていた入学式・大学院入学式は開学以来初の中止となった。

(西村大祐)人文学類3年、後藤佳博)社会学類3年、16面に関連写真)

筑波大は東京五輪・パラ 試験を原則行わない方針。オリンピック期間中に授業や、だったがこれも転換する。

授業開始日が約20日延期されるに伴い、春ABCモジュールの終了日は8月7日となる。

筑波大は五輪開催に伴い計8日間、土曜授業をする予定だった。授業開始延期による不足時間を補うため、土曜授業を8日分に加え、祝日の授業を3日分実施する。

4月5~7日に予定されていた新生向けのオリエンテーションは、各学類がオンラインなどで実施する見込みだ。

筑波大は3月12日に入学

式の中を公表した。それまでは参加者を新入生のみに限った上で開催する方針だった。一方、卒業式・大学院学位記授与式は出席者を学群・学類、研究科の代表者に限り、3月25日に実施された。

筑波大の新型コロナウイルスへの対応は、1月29日

新型コロナウイルス関連記事

- 一般入試で感染対策 2面
- 運動部は対外活動自粛 12面
- 学生生活に広がる影響 15面

誰もいない合格発表掲示板



(3月7日、本部棟南駐車場で) 例年、歓喜の声が響く掲示板前。新型コロナウイルスの感染拡大で掲示が中止され、静けさが広がっていた。(西村大祐、写真も。2面に関連記事)

性的少数者も同一支援

筑波大は出産、育児、介護など教職員の福利厚生に関する支援制度を4月から見直し、法律婚、事実婚、性的少数者のカップルを問わず同じ支援を受けられるようにした。大学としては全国初の取り組み。(北川瑠菜)社会学類2年、後藤佳博)

性的多様性 SOGI/LGBT+

今回の見直しでは、大学の就業規則や育児、介護、配偶者出産休暇や介護休暇などは事実婚の場合も認められている。しかし、戸籍上の性別が同一のカップルはいずれも対象外だった。

教職員が、読み替えられた規定の適用を希望する場合は、パートナーであることを証明する書類の提出が必要で、地方自治体が発行するパートナーシップ証明書などが該当する。

それがない場合は、相互に相手方を任意後見受任者とする公正証書▽世帯全員の住民票の写し▽配偶者がいないことを証明する書類—の3点を提出する。

支援の拡充は、「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」の作成に携わった河野禎之助教(人間学)と土井裕人助教(人社会学)が昨年

2月、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターとして担当部署に提案した。

その後、組織・職員課や人事課、就職課などを中心に1年間協議が進められた。河野助教によると、茨城県が性的少数者のカップルを公認する「いばらきパートナーシップ宣誓制度」を昨年7月に導入したことも、支援拡充の後押しになったという。

河野助教は「筑波大は開かれた大学を理念としている。支援拡充は、その理念に合わせた自然な動きだ。他大学に先例を提示する」という意義もあると語った。

SOGIは、「性的指向と性自認を意味し、LGBTとは違い、全ての人に当てはまる性の属性を示します。性的多様性 SOGI/LGBT+」では、性の多様性を理解、共生できる社会を目指し、分かりやすく情報を発信します。

防衛装備庁から研究助成

筑波大 5年間で最大20億円

防衛装備庁の「安全保障技術研究推進制度」で昨年12月、筑波大の藤田淳一教授(物理学)が研究代表を務める研究課題が採択された。同制度では最も高額な5年間で最大20億円が受けられる大規模研究課題(タイプS)で、大学が選ばれるのは初めて。(國井俊介)社会学類3年、加藤優花)国際総合学類3年、西村大祐)

研究課題は「高強度カーボンナノチューブ(CNT)を母材とした耐衝撃緩衝機構の解明と超耐衝撃材の創出」。CNTを使い、衝撃に強い炭素系素材を開発する

「沿った提案を公募・資金提供するもので、2015年度に始まった。同庁は、研究成果の公表を制限することと、防衛装備品への応用可能性は審査の観点に

大学と研究 大軍

含まれないとしている。昨年度の予算は約101億円。

タイプSは17年度から採択が始まり、例年7件程度が採択されてきた。同庁によると、昨年度は1次募集でタイプS採択数が3件にとどまるなど予算に余裕が生じ、2次募集したという。大学での軍事研究の是非

を巡っては、同庁の新制度が始まって以降、議論が本格化し、日本学術会議は17年に軍事研究を否定する見解をまとめている。

筑波大も昨年1月、「軍事研究をしない」とする基本方針を発表。筑波大で行われる研究は①人道に反しない②研究者の自主性・自律性を尊重する③研究の公開性を担保する—の3点を満たす必要があるとしている。その上で、同庁や米軍による資金提供など軍事研究とみなされる可能性が高い研究については、学内に設置した審査委員会が個別

に判断するとしていた。藤田教授の今回の申請は、昨年10月に学長や副学長などで構成される審査委員会に事前に審議された。委員会では①③を満たす研究で軍事研究に当たらないと判断され、同制度への申請が認められた。

永田恭介学長は本紙の取材に「防衛装備庁の予算は国会の審議を経て成立している。憲法の下で、立法府が認めた予算が軍事にあたるかどうかを筑波大として判断する立場にない。筑波大としては内容が軍事研究に当たらないかをチェックするのが役

目だ」と語った。

承認に際し、3点が確保できない場合は筑波大側が研究を差し止めることができる条件を追加し、研究の進捗を定期的な調査することにしたという。

木越英夫副学長(研究担当)は「大学が定期的に研究の進捗などをチェックすることは研究が当初の目的から外れてしまつてを防ぐため、研究者を守ることにつながる」と話した。

今回の採択を巡っては、日本科学者会議の茨城支部や筑波大学分會「安保護用」にあること明らかに

の会が2月に、大学の基本方針に反するとして抗議声明を出していた。

また、池内了一、名古屋大学名誉教授らが共同代表を務める「軍学共同反対連絡会」は3月11日、「制度の主たる目的が将来の軍事利

し、研究中止を求める申し入れ書と署名を筑波大に提出した。

こうした批判に対し、木越副学長は「反対意見があるのは承知しているが、今回の申請については基本方針に反しないものと考えている」と語った。

支援の拡充は、「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」の作成に携わった河野禎之助教(人間学)と土井裕人助教(人社会学)が昨年

2月、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターとして担当部署に提案した。

その後、組織・職員課や人事課、就職課などを中心に1年間協議が進められた。河野助教によると、茨城県が性的少数者のカップルを公認する「いばらきパートナーシップ宣誓制度」を昨年7月に導入したことも、支援拡充の後押しになったという。

河野助教は「筑波大は開かれた大学を理念としている。支援拡充は、その理念に合わせた自然な動きだ。他大学に先例を提示する」という意義もあると語った。

SOGIは、「性的指向と性自認を意味し、LGBTとは違い、全ての人に当てはまる性の属性を示します。性的多様性 SOGI/LGBT+」では、性の多様性を理解、共生できる社会を目指し、分かりやすく情報を発信します。

「指定国立大学法人」申請

審査結果は夏ごろ公表

筑波大は「指定国立大学法人」への指定を文部科学省に申請した。指定されると国の規制が緩和され、研究成果活用のための大学発ベンチャーへの出資などがしやすくなる。また、国からの補助金も得られる。ただし指定には、「世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる」と、国から認められる必要がある。文科省は今年夏ごろに審査結果を公表する。



本紙の取材に応じる永田学長(3月9日、学長応接室で) = 後藤佳佳撮影

指定国立大学法人制度は2017年度に始まった。世界の有力大学と肩を並べる大学を指定し、研究力や人材育成能力の強化、イノベーションの創出につなげる狙いがある。これまでに、東京大や京大など7大学が指定されている。

「研究力」「社会との連携」「国際協働」の三つの領域で国内最高水準に位置していることが申請の要件とされている。

指定国立大学法人制度は2017年度に始まった。世界の有力大学と肩を並べる大学を指定し、研究力や人材育成能力の強化、イノベーションの創出につなげる狙いがある。これまでに、東京大や京大など7大学が指定されている。

永田学長は「指定国立大学法人は、特例を活用し、外部資金が獲得しやすくなる。これまでより投資の自由度が上がることも考えられる。世界の有力大学と競争できる大学運営を期待する。そのために、国として支援したい」と話した。

永田学長「若手3割近くに」

現在は約2割 増加に向けた新制度も

近年、全国の大学で若手教員(40歳未満)の比率がじわじわと下がっている。国立大学が人件費などに充てる国からの運営費交付金の削減に伴い、ポストが減少していることが背景にある。政府は、若手の研究環境の強化を打ち出し、将来的に「3割以上」とする目標を掲げるが、筑波大の若手教員の割合は約2割と全国平均レベルにとどまる。筑波大の永田学長は本紙の取材に対し「(若手の割合は)3割近くを目指す」と話し、筑波大の強みとなる研究分野について、教員が定年退職する前に新規若手教員を採用できる新たな教員人事の枠組みを導入する方針を明らかにした。

(木村誠二 人文学類4年、西村大祐、後藤佳佳、國井俊介)

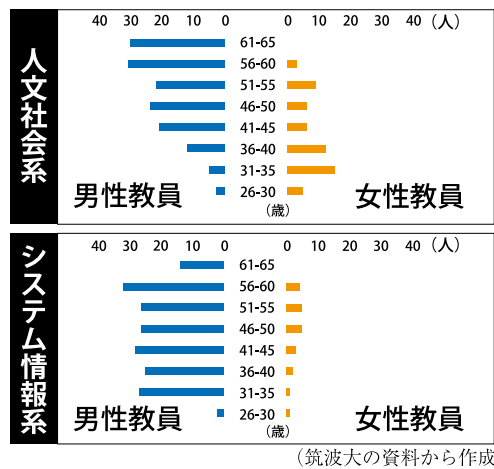
4 教員数減少を 考える

系ごとに異なる状況

文部科学省によると、国内全大学の若手の割合は2016年度で23.4%、国立大学に限ると18年度で24.8%だった。

筑波大の若手の割合は18年度で20.1%だが、教員が所属する「系」により、その割合は大きく異なる。筑波大が公表している別の教員数の年齢データは5歳刻みなため、本紙は4歳以下を若手教員として集計した。その結果、若手の

教員の「人口ピラミッド」(2019年度)



割合は人文社会学系や情報学類などの教員が所属する人文社会学系が最も低かった。同系の昨年度の若手の割合は15.7%。11年度の割合は15.8%から低下した。逆に、56歳以上の教員は11年度の20.5%から昨年度は39.7%に増えた。

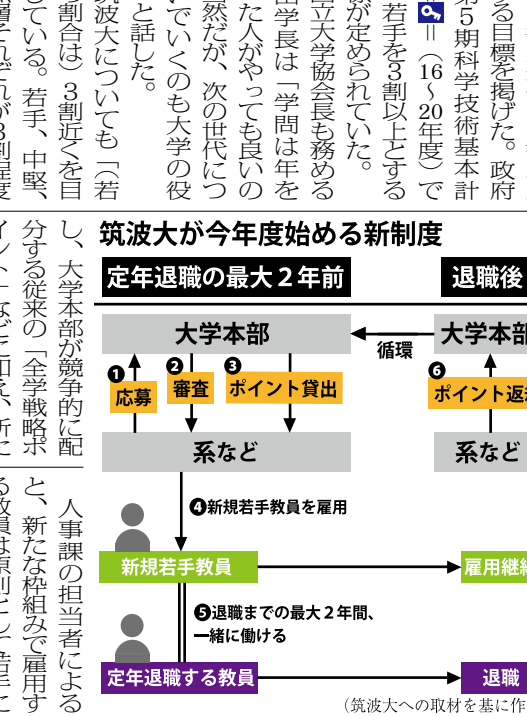
若手の割合が最も高いのは、社会学系や情報学類などの教員が所属するシステム情報系で、昨年度は31.3%。11年度の29.6%から上昇した。

政府の総合科学技術・イノベーション会議は今年1月、若手(40歳未満)を25年度までに約1割(約5500人)増やし、将来

筑波大の新施策

若手の増加に向け「施策は打っている」と永田学長は話す。具体的には、各系がポイントの1%を拠出

筑波大が今年度始める新制度



人事課の担当者によると、新たな枠組みで雇う教員は原則として若手に限る。毎年30人程度を予定している。

大学本部が新規教員を雇いたい系などからの応募を審査し、筑波大の強みとなる研究分野と判断すると、教員を雇う予算に相当する「ポイント」を貸す。

学内で作業員死亡

1月20日午後、大学構内でごみの回収作業をしていたつば市内の40代男性会社員が、ごみ収集車のローラー部分に巻き込まれた。男性は市内の病院に運ばれたが、死亡が確認された。死因は圧死だった。

つばは中央署(現つば署)の調べでは、筑波本部アネックス棟南側のごみ

筑波大 一般入試

【一面参照】筑波大の一般入試は前日程が2月25、26日に、後日程が3月12日に実施された。延べ4796人が受験した。現

在の枠組みでの実施は今回が最後で、2021年度入試からは一般入試が「一般入試」に名前を変え、前期日程で新たに総合選抜が導入される。

入学定員(2011)の6割を募集する前期日程(募集人員1307人)では1358人が合格。志願者数は4385人(前年度比57.4人減)で、全体の志願倍率は3.4倍(前年度は3.8倍)だった。

前期日程での都道府県別の合格者数は、東京都が198人で昨年に引き続き1位。2位は茨城県で

ラグビー場「CHUBU T Field」

ネーミングライツで愛称決定

筑波大は近年の生産・販売や管理を手掛ける「チュウブ」(東京都中央区)とネーミングライツ(施設命名権)契約を結んだ。ラグビー場の愛称を「CHUBU T Field」とする。期間は2023年3月末までの3年間。チュウブは対価として、ラグビー場の多生の維持管理業務を提供する。

筑波大は昨年12月、ラグビー場の愛称の命名権を付与する代わりに、芝生整備の役割が整備費の金銭負担を求め、同社と契約を結んだ。

ラグビー場は主に授業と

筑波大 一般入試

【一面参照】筑波大の一般入試は前日程が2月25、26日に、後日程が3月12日に実施された。延べ4796人が受験した。現

在の枠組みでの実施は今回が最後で、2021年度入試からは一般入試が「一般入試」に名前を変え、前期日程で新たに総合選抜が導入される。

入学定員(2011)の6割を募集する前期日程(募集人員1307人)では1358人が合格。志願者数は4385人(前年度比57.4人減)で、全体の志願倍率は3.4倍(前年度は3.8倍)だった。

前期日程での都道府県別の合格者数は、東京都が198人で昨年に引き続き1位。2位は茨城県で

ラグビー場

筑波大は近年の生産・販売や管理を手掛ける「チュウブ」(東京都中央区)とネーミングライツ(施設命名権)契約を結んだ。ラグビー場の愛称を「CHUBU T Field」とする。期間は2023年3月末までの3年間。チュウブは対価として、ラグビー場の多生の維持管理業務を提供する。

筑波大は昨年12月、ラグビー場の愛称の命名権を付与する代わりに、芝生整備の役割が整備費の金銭負担を求め、同社と契約を結んだ。

ラグビー場は主に授業と

筑波大 一般入試

【一面参照】筑波大の一般入試は前日程が2月25、26日に、後日程が3月12日に実施された。延べ4796人が受験した。現

在の枠組みでの実施は今回が最後で、2021年度入試からは一般入試が「一般入試」に名前を変え、前期日程で新たに総合選抜が導入される。

入学定員(2011)の6割を募集する前期日程(募集人員1307人)では1358人が合格。志願者数は4385人(前年度比57.4人減)で、全体の志願倍率は3.4倍(前年度は3.8倍)だった。

前期日程での都道府県別の合格者数は、東京都が198人で昨年に引き続き1位。2位は茨城県で

約260人で市全体を管轄

つくば警察署 3月2日開設



新設されたつくば署(3月24日、つくば市学園の森で) ※画像は一部加工しています

茨城県警は事件・事故への対応と災害対策を強化するため、つくば中央署(つくば市竹園)とつくば北署(同市北条)を統合し、同市学園の森3丁目1に「つくば署」を新設、3月2日から業務を始めた。筑波大の西約1.7キロに位置し、県内では水戸署に次ぐ規模の警察署となる。

つくば市ではこれまで、旧筑波町と旧大穂町を管轄する北署と筑波キャンパスなど、それ以外の地区を管轄する北署と筑波キャンパスや休日などの捜査体制が異なる。

つくば署は、約260人の職員で対応する。つくば署は、つくば市全体の約260人の職員で対応する。つくば署は、つくば市全体の約260人の職員で対応する。

全体的な指摘を受けていないと指摘されている。また、中央署は40年前に比べ、職員が2倍以上に増え、庁舎が手狭になってきた。そのため、県警はつくば署に集約し、つくば市全体を約260人の職員で対応することにした。

中央署は3月2日に開館され、今後は取り壊される予定となっている。北署はつくば北警察センターとなり、つくば署分庁舎として運転免許の更新や被害の届け出、落とし物の受け取りなどに対応する。

つくば署の菅原一記副署長は「今までと変わらず、つくば市の治安維持に貢献したい」と話した。電話番号は中央署のもの引き継がれ、029・851・0110。

県立医療大学長に松村氏

前筑波大附属病院長



松村明氏

前筑波大附属病院長の松村明氏が4月1日、茨城県立医療大(茨城県阿見町)の学長に就任した。永田博司・前学長の任期満了に伴うもので、任期は2024年3月までの4年間。

松村氏は1980年に筑波大医学専門学群(当時)を卒業。2004年から今年3月末まで筑波大教授。この間、14年から18年までは筑波大附属病院長を務めた。

専門は脳神経外科と放射線科学。松村氏は16年に「第2期茨城県立医療大改革プラン」の作成に携わり、昨年2月からは同大運営協議会の委員を務めていた。

県立医療大とは、筑波大の山海嘉之教授(工学情報系)とともに装着型サイボーグ「HAL」の共同開発や臨床研究にも取り組んだ。1月29日に行われた県立医療大の学長候補者選挙では、教授など専任教員3人以上の推薦を受けた候補者が松村氏以外におらず、信任投票で有効票の過半数を得て学長に選出された。



古ボールに命吹き込む リボン・アートボール展

使い古されて廃棄される競技用のボールに絵を描き、芸術作品として再生させる取り組み「リボン・アートボール」の展示会が筑波大東京キャンパス(東京都文京区)で2月3日から3月28日まで開かれた。会場には72点の作品が展示され、チョウや花の模様

模様や飾りが付けられた競技用ボール(3月7日、筑波大東京キャンパス)

が鮮やかな色合いで描かれたサッカーボールやラグビーボールなどが並んだ。茨城県出身のアイドルや力士など著名人の作品も展示された。

リボン・アートボールは、筑波大の太田圭教授(芸術系)がスポーツをテーマとした芸術を多くの人に知ってもらうと、2016年に始めた。廃棄されるボールに自由に絵

を描く子供向けのワークショップを、県内各地で行われてきた。42回開催するほか、作品コンテストも企画した。

17年には、東京五輪・パラリンピックに向けて、茨城の魅力国内外に発信する「茨城県文化プログラム推進事業」に認定された。

太田教授は蹴球部の部長を務めており、「ボールがぼろぼろになるまで練習している選手へのリスペクトの気持ちを込めてアートボールを作っている」と話した。(廣瀬菜月比較文化学類2年、写真も)

新任人事

【学群・学類長(人文文化学類)】比較文化学類長 伊藤純郎(人文学部) 社会科学学類長 北村豊(人文学部) 人間学学類長 山本朝治(人文学部) 教育学学類長 鄭仁豪(人間学) 障害学学類長 樋口直宏(同) 障害学学類長 岡田典子(同) 生命環境学学群長 和田洋(生命学) 生物学学類長 中野賢太郎(同) 生物学学類長 菅谷純子(同) 地球学学類長 角替敏昭(同) 理工学学群長 秋山英三(シス情系) 副学群長 秋山茂樹(数物系) 数学学類長 寛知之(同) 物理学学類長 守友浩(同) 化学学類長 市川淳士(同) 応用理工学類長 白木賢太郎(同) 工学システム学類長 文字秀明(シス情系) 社会学学類長 鈴木勉(同) 情報学学群長 中山伸一(同) 情報学学類長 伊藤藤(同) 情報科学学類長 伊藤藤(同) 医学学群長 田中誠(医学医療系) 医学学類長 榎正幸(同) 看護学学類長 日高紀久江(同) 体育専門学群長 木塚朝博(体育系)

組織の略称

【学群・学類・学士課程学位プログラム】人文文化学類(人文文化学群) 人文学類(人文文化学群) 社会科学学類(社会科学学群) 人間学学類(人間学学群) 生命環境学学群(生命環境学学群) 生物学学類(生物学学群) 地球学学類(地球学学群) 理学学類(理学学群) 化学学類(化学学群) 物理学学類(物理学学群) 工学システム学類(工学システム学群) 社会学学類(社会学学群) 情報学学類(情報学学群) 情報科学学類(情報科学学群) 医学学類(医学学群) 看護学学類(看護学学群) 体育学学類(体育学学群) 芸術学学類(芸術学学群) 生命環境学学類(生命環境学学群) 人間学学類(人間学学群) 障害学学類(障害学学群) 樋口直宏(同) 岡田典子(同) 和田洋(同) 中野賢太郎(同) 菅谷純子(同) 角替敏昭(同) 秋山英三(同) 秋山茂樹(同) 鈴木勉(同) 中山伸一(同) 伊藤藤(同) 伊藤藤(同) 田中誠(同) 榎正幸(同) 日高紀久江(同) 木塚朝博(同)

おことわり

本紙では4月発行の新生入生歓迎号において新入生名簿を掲載していましたが、今年度から掲載を取りやめました。個人情報保護の重要性の高まりを踏まえ、編集部内や関係各所と熟慮を重ねた上での判断です。ご了承ください。

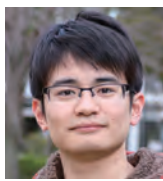
【学群・学類・学士課程学位プログラム】人文文化学類(人文文化学群) 人文学類(人文文化学群) 社会科学学類(社会科学学群) 人間学学類(人間学学群) 生命環境学学群(生命環境学学群) 生物学学類(生物学学群) 地球学学類(地球学学群) 理学学類(理学学群) 化学学類(化学学群) 物理学学類(物理学学群) 工学システム学類(工学システム学群) 社会学学類(社会学学群) 情報学学類(情報学学群) 情報科学学類(情報科学学群) 医学学類(医学学群) 看護学学類(看護学学群) 体育学学類(体育学学群) 芸術学学類(芸術学学群) 生命環境学学類(生命環境学学群) 人間学学類(人間学学群) 障害学学類(障害学学群) 樋口直宏(同) 岡田典子(同) 和田洋(同) 中野賢太郎(同) 菅谷純子(同) 角替敏昭(同) 秋山英三(同) 秋山茂樹(同) 鈴木勉(同) 中山伸一(同) 伊藤藤(同) 伊藤藤(同) 田中誠(同) 榎正幸(同) 日高紀久江(同) 木塚朝博(同)

【学群・学類・学士課程学位プログラム】人文文化学類(人文文化学群) 人文学類(人文文化学群) 社会科学学類(社会科学学群) 人間学学類(人間学学群) 生命環境学学群(生命環境学学群) 生物学学類(生物学学群) 地球学学類(地球学学群) 理学学類(理学学群) 化学学類(化学学群) 物理学学類(物理学学群) 工学システム学類(工学システム学群) 社会学学類(社会学学群) 情報学学類(情報学学群) 情報科学学類(情報科学学群) 医学学類(医学学群) 看護学学類(看護学学群) 体育学学類(体育学学群) 芸術学学類(芸術学学群) 生命環境学学類(生命環境学学群) 人間学学類(人間学学群) 障害学学類(障害学学群) 樋口直宏(同) 岡田典子(同) 和田洋(同) 中野賢太郎(同) 菅谷純子(同) 角替敏昭(同) 秋山英三(同) 秋山茂樹(同) 鈴木勉(同) 中山伸一(同) 伊藤藤(同) 伊藤藤(同) 田中誠(同) 榎正幸(同) 日高紀久江(同) 木塚朝博(同)

【学群・学類・学士課程学位プログラム】人文文化学類(人文文化学群) 人文学類(人文文化学群) 社会科学学類(社会科学学群) 人間学学類(人間学学群) 生命環境学学群(生命環境学学群) 生物学学類(生物学学群) 地球学学類(地球学学群) 理学学類(理学学群) 化学学類(化学学群) 物理学学類(物理学学群) 工学システム学類(工学システム学群) 社会学学類(社会学学群) 情報学学類(情報学学群) 情報科学学類(情報科学学群) 医学学類(医学学群) 看護学学類(看護学学群) 体育学学類(体育学学群) 芸術学学類(芸術学学群) 生命環境学学類(生命環境学学群) 人間学学類(人間学学群) 障害学学類(障害学学群) 樋口直宏(同) 岡田典子(同) 和田洋(同) 中野賢太郎(同) 菅谷純子(同) 角替敏昭(同) 秋山英三(同) 秋山茂樹(同) 鈴木勉(同) 中山伸一(同) 伊藤藤(同) 伊藤藤(同) 田中誠(同) 榎正幸(同) 日高紀久江(同) 木塚朝博(同)

今年度から筑波大大学院の組織が再編され、学位プログラムに移行しますが、昨年度以前に入学した学生は従来の研究科・専攻に所属します。従来の研究科・専攻の略称は本紙第348号掲載のものを使用します。また、紙面スペースの都合上、新設された学位プログラムリーダーと、既存の研究科・専攻の新任人事を省略しました。

記者の声



秋田耕平

入試改革 学生支援の体制づくりは急務 調査書の点数化は見直しを

筑波大学の学群入試改革まで1年を切った。学群の枠を越えて選抜する「総合選抜」と、受験生の「調査書」を点数化して合否判定に利用する「主体性評価」の二つが柱となる。今回の改革に伴う課題を整理してみたい。

総合選抜は体育専門学群を除く24学群・専門学群が参加する。受験科目が異なる「文系」「理系Ⅰ」「理系Ⅱ」「理系Ⅲ」の4区分で実施し、全入定員の2割となる計413人を募集する。本人の志望と入学後の成績に「自らの知的好奇心に任せて様々な専門領域を学修し、確かな未来に向けて、『学び』を主体的に計画したいと考える方」のための入試だと述べている。

ここでの課題は、進路選択に迷う学生の支援体制の整備と、進路決定に使う学生の成績評価の透明性確保だろう。

類似の総合入試制度を実施している北海道大を3年前に取材した。同大はラーニングサポート室を設け、教員4人と博士号を持つ専門職員4人、大学院生のティーチング・アシスタント十数人が学生の進路相談や学習支援に当たっている。

筑波大もクラス担任や各学群から選ばれた教員が学生に助言

い。学生が履修科目を組み立てる際の公平性を保つためにも導入を急ぐべきだ。

主体性評価の導入は文部科学省の方針を踏まえたものだ。調査書には受験生の高校3年間の学習態度や学校生活が書かれている。「知識技能」や「思考力・判断力・表現力」に加え、「主体性」を持って人々と協働して学

ぶ態度を評価する狙いがある。筑波大は総合選抜と多くの学群の一般入試で、調査書の内容を最大50点満点で点数化する。総合選抜の場合と、調査書の配点は総配点の約2割となる。

昨年3月の筑波大の発表では、評価項目は調査書に記載欄がある①学習等②部活動・ボランティア

筑波時評

裁判員制度は、2009年5月から始まり、去年等放火罪、身代金目的誘拐罪などの一定の重大な犯罪に限られます。裁判員裁判とは、地方裁判所で行われる第一審の刑事裁判について、国民に裁判員として参加してもらい、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするかを裁判官と一緒に決めてもらう制度です。原則として裁判員6人と裁判官3人で構成されます。裁判員裁判の対象となるのは、例えば、殺人

類似的総合入試制度を実施している北海道大を3年前に取材した。同大はラーニングサポート室を設け、教員4人と博士号を持つ専門職員4人、大学院生のティーチング・アシスタント十数人が学生の進路相談や学習支援に当たっている。

筑波大もクラス担任や各学群から選ばれた教員が学生に助言

裁判員制度 メリットもあるが負担大 刑事裁判の大原則理解を

従来の刑事裁判では、検察官が立証に必要と思われる証拠対象となるのは、例えば、殺人

1カ月に1回程度の審理を開いて尋問を繰り返す。それが何カ月か続き、裁判官が最終的に判断するという形でした。

これに対して、裁判員という形で国民が入ったことにより、より短期間により分かりやすい裁判をするというところで、法定で出される証拠は厳選されるようになりまし。争いがある事

件でも、基本的には連続した5日ぐらいの期日で、法廷の場で証人尋問や被告人質問を行い、裁判員にその場で理解してもらった上で、裁判官と裁判員が評議して判決するという形になりました。

しかし、全てが数日で終わるわけではなく、100日以上かかる

反対意見

座右の銘

「座右の銘。それは、心の中心にある戒めや励まし

【大器晩成】 昔、占いに言われた。「石の上にも三年」

【障害2年・女性】 高校の卒業式で、担任の先生からもらった言葉。自分

自分が笑顔でいれば、周りの人達も嫌な気持ちにはならないから。

【電物2年・女性】 「足るを知る」

【心理2年・男性】 「フレス・オブリジュー」

【人文2年・女性】 「人生、今が一番若い」

【理工3年・男性】 「人に生かされて人生、人を生かして人生」

コンビニの24時間営業

24時間営業を成長の原動力にしてきたコンビニ業界が岐路に立っている。人手不足を背景に、その見直し

【心理2年・男性】 生活が不規則になりがち

【文前期2年・女性】 24時間営業は、いつでも買物に行ける時代

【資源4年・男性】 利用者としては、24時間営業は助かる。だが、人手不足の地域では従業員が過重労働を招く恐れがある。

【入社1年・男性】 東京なら利用者も働き手も多、24時間営業が効果的にできるかもしれない。

【看護4年・女性】 地域によってコンビニの利用頻度やニーズは変わってくる。24時間営業をする店舗があってもいいし、ない店舗があってもいい。



イラスト=大森春歌(芸術専門学群3年)

【資源4年・男性】 利用者としては、24時間営業は助かる。だが、人手不足の地域では従業員が過重労働を招く恐れがある。

【入社1年・男性】 東京なら利用者も働き手も多、24時間営業が効果的にできるかもしれない。

【看護4年・女性】 地域によってコンビニの利用頻度やニーズは変わってくる。24時間営業をする店舗があってもいいし、ない店舗があってもいい。

卒業・修了制作展

「大學生生活の結晶」集う

日本画や書など 233点展示

筑波大の「令和元年度芸術専門学群卒業制作展」が2月4日から3月1日に茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。

つくば市内の女性は「ユニークな作品が多く、楽しめた」と話していた。その中でも特に目を引いたのは、建築模型とイラストを使い、静岡県松崎町の伝統建築の継承と地域おこしを提議した安部通香さん(令和元年度芸術専攻修了生)の「継ぐ、ということ」だ。



安部さんの作品「継ぐ、ということ」(2月28日、つくば美術館で)

今回の制作展の総括代表を務めた黒松愛華さん(芸術P1年)は「出品した作品は大學生生活の結晶で、仲間と共に切磋琢磨した軌跡でもある。四つある専攻の学生が他専攻と交流し、見識を深めることができる」とは筑波大の特色だと思

「津軽三味線クラブ 無絃塾」が2月24日、ノバホール(つくば市吾妻)で開かれた。2部構成で17曲が披露され、1000人以上が今春卒業する塾生の最後の公演を兼ねた。

「津軽三味線クラブ 無絃塾」の公演の様子が写っています。多くの観客が会場を埋め尽くしています。

津軽三味線クラブのメンバーが演奏している様子が写っています。観客の拍手が聞こえます。

「津軽三味線クラブ 無絃塾」の公演の様子が写っています。観客の拍手が聞こえます。

「津軽三味線クラブ 無絃塾」の公演の様子が写っています。観客の拍手が聞こえます。

「津軽三味線クラブ 無絃塾」の公演の様子が写っています。観客の拍手が聞こえます。

CAIR2020

海外の美大生と作品を制作

海外の美術大学の学生を筑波大に招き、芸術専門学群の学生と一緒に制作する「キャンパス・アーティスト・イン・レジデンス」(CAIR) (主催・筑波大 学教育戦略推進プロジェクト)

最初の7日間は共同アトリエで油彩やアクリル画、版画やインスタレーションなどさまざまな作品を制作した。筑波大生に海外の美大生を加えたチームを作



共同アトリエで各々に作品を制作する学生ら(2月19日、アート&デザイン実習室1で)

あり、各々が題材とした過去の記憶や社会問題などについて英語で語り合った。沼野千秋さん(芸術専攻3年)は、平仮名とアルファベットの関係性に着目し、「a」と「あ」など、同音の平仮名とアルファベット、どちら

多彩な音色 会場響く 打楽器アンサンブル団体の「筑打」の定期コンサートが2月2日、つくばカピオ(つくば市竹園)で開かれた。コンサートでは約50種もの打楽器が使われ、約300人の観客が多様な打楽器の音色を楽しんだ。

「筑打」は筑波大吹奏楽団、管弦楽団、応援部WINSの打楽器パートの有志23人で構成されている。コンサートは3部構成で、全11曲が披露された。

田中洋作曲の「ピロッド タイムズ カルテット」は、軽快な手拍子から始まり、マリリンバとシロフォンの音色が曲調に華やかさを与えた。その後、ティンパニやシンバルなど定番の打楽器に加え、ドレミパイプなど珍しい打楽器も相次いで登場した。ドレミパイプはプラスチックでできた管状の打楽器で、管の長さによって違う音階が出る。

和氣 愛仁 准教授 (日本語学・人文情報学) 人文社会系・准教授。筑波大学大学院文芸・言語研究科博士課程修了。博士(言語学)。一橋大学総合情報処理センター助教などを経て、2009年より現職。

部に入ってから、今に至るまでトランプを吹き続けることになる。高校の時、父がパソコン一式を購入した。成績処理をするのだという。当時のパソコンにはBASIS言語が標準添付されていた。それでプログラミンの面白さにはまった。仕事道具は子供のおもちゃになった。

が、授業を履修するうちに言葉の面白さにひかれるようになり、2年次から日本語学コースを希望。それから多くの先生方との出会いがあり、大学院に進学。そんなわけで、日本語学を専門としつつ、業務としてサーバーやネットワークの管理をし、さらに大学関係者に隠すようにして演奏活動をしているという時期が長く続いた。教員になってからも、自分は日本語学で生きていかねばならぬのだと思ひ込もうとしていた節がある。ところが、仕事でまず評価されるのはコンピュータ。そして一番古くから続けている音楽はあいかかわらず専攻の趣味。分裂した自意識。しかし、あがげ先生が見ているというところも確かにあるようで、筑波大に着任した頃、人文情報学という研究分野があることを知る。それまで別々だった言語研究とコンピュータ技術が繋がっ

俳句 筑波大

いぬふぐり蛇口の下のくぼみあり 風は春齊あたりに落ち着いて ものかげに池の収まる春彼岸



つくば市桜で廣間菜月撮影

今号からは、筑波大周辺を散策して俳句を詠みます。俳句は昨年度に引き続き、筑波大生で俳人の吉川創揮さんが担当します。

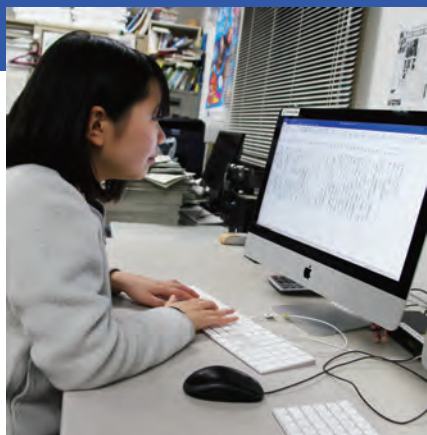
新人記者募集中!



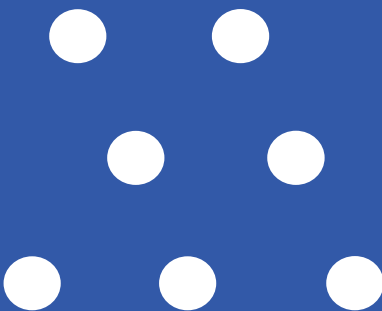
INTERVIEW
聞く



TAKE PICTURES
撮る

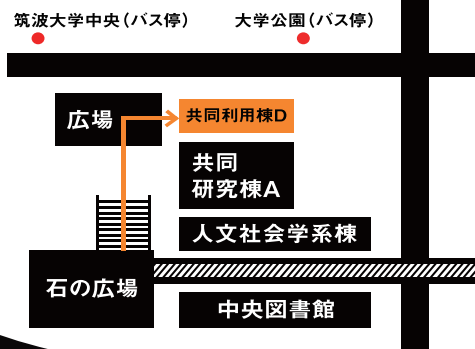


WRITE
書く



毎週月曜の午後6時30分から、編集室(共同利用棟 D104)で「編集会議」を行っています。見学も可能です。活動内容についてはTwitterなど公式SNSで発信していきます。

TEL : 029-853-6699
MAIL : shinbun@un.tsukuba.ac.jp
Twitter : @ut_shimbun



誰もが活躍できる編集部

新入生のみなさん、ご入る筑波大のスポーツを主に学おめでどうございます。取り扱っています。ですが、その活動の枠は大学内に収まりません。筑波大学新聞に取って、ご覧いただき誠にありがとうございます。筑波大学新聞は年に7回、各2万1000部(新入生歓迎号に当たる今号は約4万1500部)発行している筑波大の広報紙です。記事の執筆のほか、紙面作りなどは全てを学生の記者が担当しています。ご覧いただいた通り、大学内の話題や学芸、研究、省庁やメガバンク、他大学などにも「事実」を求め、取材します。



編集長 西村大祐

昨年9月には先進的な大学スポーツの取り組みについて取材するため、英国に渡りました。言語の壁があ

「新聞」は古くて新しい

インターネットの発達で、誰もがいつでも情報を発信し、受け取ることができる時代となりました。でも、その情報はどれほど信頼できるのでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大を巡っては、「マスクと原料は同じ」という誤情報がSNSで拡散し、トレットペーパーの買い占め騒ぎが起きました。そんなフェイクニュースに踊らされない情報リテラシーを身に付けたいなら、そして情報発信能力を身に着けたいなら、ぜひとも筑波大学新聞の門戸をたいてほしいと思います。

1月に発行した354号 編集代表 鴨志田公男 野でも取材できます。ある日の取材相手は、日本代表のスポーツ選手かも



編集代表 鴨志田公男

新入生の皆さん、ぜひ、編集部においでください。(筑波大教授、元毎日新聞論説委員)

T-ACT で活躍する筑波大生

筑波大には、学生の「やってみよう」を応援する独自のプログラム「T-ACT」(つくばアクションプロジェクト)がある。その中でも学生が立案し、実行する「T-ACTアクション」には、毎年ユニークな企画が集まる。新しいことを始めるにはびびりたりの4月。昨年度にT-ACTの支援を受け、自分の「やってみよう」を実現した4人に話を聞いた。(北川瑠菜、比較文化学類、中村瑞歩、日本語・日本文化学類、國井俊介、後藤佳佳、社会学類、遠子内早紀、教育学類)

T-ACTとは

T-ACTの活動には3種類ある。▽学生が企画、コンサルタントに相談する「T-ACTアクション」▽教職員が立案し、学生とともに企画を進める「T-ACTプラン」▽地域活動団体が学生をボランティアとして募集する「T-ACTボランティア」

◆青木勇樹さん (情科2年)

高校1年時、文化祭の女装コンテストで優勝し、自分を可愛らしく見せる喜びに目覚めた。大学入学後、女友達や女装が趣味の友人に教わりながら、本格的にメイクを始めた。そして、今年3月に「メイク好き同士で情報交換するだけでなく、メイクの楽しさを多くの筑波大生に伝えたい」という思いで代表に就任した。その前は昨年9月と12月にイベントを開いた「つくメイク」だ。昨年9月のイベントは、化粧品集めが趣味の四元祐希さん(心理4年)が、友



「メイクの楽しさを広めたい」と意気込む青木さん(3月23日、2B棟で) = 北川瑠菜撮影

メイクの「楽しさ」を発信

人へ声をかけたことがきっかけで開催に至り、約30人が参加した。こだわりの詰まったプレゼンや聞き、自分もメイクについて発信したいと感じた。昨年12月開催の第2回は「つくメイク」ではその活動を引き継ぎ、化粧品コンプレックスを感じる部分や、参加者にメイクを施す実演講座などを盛り込んだイベントの開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

青木さんは「つくメイク」の魅力は、性別、年齢問わず色々な人と、化粧品への愛や美容に関する悩みを語れることと話す。次回は、新入生に焦点を当てたイベントを考えている。初心者向け化粧品の紹介のほか、「メイクは誰かのためではなく、自分のためにするもの」というメッセージを伝えたいという。「筑波大には自分らしいメイクを楽しむ人が少ないので、抽出時間を3分、5分、10分に分けて、12タイプのコピーを提供した。5日間にわたったイベントでは、時間帯によって提供できるコピーのタイプに偏りが生じたり、開催時間が日によって異なったり一度飲みたいか、などヒアリングを聞いた。誰がどんなコピーを飲んだり深煎りの「キリマンミ」を感じたのかを蓄積。公開するデータベースを作るためだ。

データから「最適の一杯」探し

ふ人が予想以上に多く、最適の一杯探しに手応えを感じたという。コピーにはまったのは大学2年の時。所属するゼミの担当教授がゼミの開始前にコピーをいれてくれたことがきっかけだ。教授をまねて自宅でコピーをいれるうちに、ひき方や抽出方法によって味わいに変化するコピーの魅力を知った。「なんとなくコピーを選んで入る人、気分や状況に合ったコピーがあることを知ってもらいたい」と考え始めたことが、イベントに結びついた。活動を通じて得たノウハウを活かし、将来はコピーの奥深さを広めていく予定だ。「T-ACTは自分のやりたいことを気軽に実践できる環境を提供してくれる。大学生のうちに、何が得意かを考える機会となった」と芹川さんは体験の意義を語った。



コーヒーをいれながら、その魅力を語る青木さん = 本人提供

「T-ACT」は31件だった。相談窓口は1D棟3階にT-ACT推進室の黒田卓哉助教は「T-ACTの活動を通じて、自分で考えて実行するという『企画力』がまず身につく。そのプロセスも、座学では体験

企画のきっかけは、藤野さんがスロベニア留学中、日本の祭りの普及活動を行っていた一般社団法人「ba Mikoshi」の「明日の祭」の宮田宣也・代表理事と、日本文化の紹介イベントで偶然出会ったこと。宮田さんは、少子化で神輿の担ぎ手が減少するなか、全国各地の祭りを支援するボランティア活動をして

企画をT-ACTに申請。活動にこぎつけた。「神輿を担ぐ楽しさを共い」と考え、神輿担ぎなどの有したいという純粋な思いから始めた。自分の好きな祭りに参加したいという思いで、日本文化を一緒に体験し、文化の担い手の輪を広げたい」と話す。2月11日に明治神宮(東京都渋谷区)で行われた「建国祭 奉納神輿パレード」に初参加し、活動が本格化した。日本の祭りに参加する上で、避けて通れないのが宗教的な問題だ。「例えば、建国祭は、昔はナショナルイズムを高揚する意味合いもあった。メンバーの中には、そのような思想にわたがまをもち、留学を断った」と藤野さん。できるだけ丁寧な説明を聞き、販路を共有し、話し合うことを心がけているという。祭りに参加は建国祭のパレード1回のみ。「活動を始めた12月から3月までは祭りの数自体が少ない。今年度も引き続き活動し、夏祭りを中心に多くの

企業が多く断られた。ようやく相手先の企業が決まったのは今年1月。「自市の特産やモチーフを使ったスイーツを提案した。この企画のモデルとなったのは2017年に藤原優人さん(資源P1年)が設立した、T-ACTのプロジェクトだ。つくば産のブルーベリーなどを使ったスイーツを開発し、商品化につなげていた。高校生の時にこの活動を知り、入学後に参加した。しかし、企画の大半はその時点で終了。商品開発には関与できず、不完全燃焼に終わった。その後、藤原さんにも相談した上で、企画を再スタートした。

高まることを考え、T-ACTの利用を決めた。T-ACTでは定期的な活動報告書提出の必要がある。「報告書を書く」と、現在達成できていない部分や、課題を把握できる。T-ACTのコンサルタントは色々な企業の事業を見ており経験豊富で、企画書や企業との交渉について相談できる。心強い存在で、加入してよかったと語る。

◆藤野真帆さん (目4年)

昨年12月に「Tsukuba Mikoshi」を始めた。筑波大生を対象に、各地の祭りに参加して神輿を担ぎ、日本文化に親しむきっかけづくりをしている。普段は週に一度、鉄パイプを組み合わせた模擬神輿を担ぎ、掛け声や動きを合わせる練習に取り組んでいる。

企画のきっかけは、藤野さんがスロベニア留学中、日本の祭りの普及活動を行っていた一般社団法人「ba Mikoshi」の「明日の祭」の宮田宣也・代表理事と、日本文化の紹介イベントで偶然出会ったこと。宮田さんは、少子化で神輿の担ぎ手が減少するなか、全国各地の祭りを支援するボランティア活動をして

企業が多く断られた。ようやく相手先の企業が決まったのは今年1月。「自市の特産やモチーフを使ったスイーツを提案した。この企画のモデルとなったのは2017年に藤原優人さん(資源P1年)が設立した、T-ACTのプロジェクトだ。つくば産のブルーベリーなどを使ったスイーツを開発し、商品化につなげていた。高校生の時にこの活動を知り、入学後に参加した。しかし、企画の大半はその時点で終了。商品開発には関与できず、不完全燃焼に終わった。その後、藤原さんにも相談した上で、企画を再スタートした。

高まることを考え、T-ACTの利用を決めた。T-ACTでは定期的な活動報告書提出の必要がある。「報告書を書く」と、現在達成できていない部分や、課題を把握できる。T-ACTのコンサルタントは色々な企業の事業を見ており経験豊富で、企画書や企業との交渉について相談できる。心強い存在で、加入してよかったと語る。

高まることを考え、T-ACTの利用を決めた。T-ACTでは定期的な活動報告書提出の必要がある。「報告書を書く」と、現在達成できていない部分や、課題を把握できる。T-ACTのコンサルタントは色々な企業の事業を見ており経験豊富で、企画書や企業との交渉について相談できる。心強い存在で、加入してよかったと語る。



メンバーとともに「建国祭 奉納神輿パレード」に参加した藤野さん(右から3人目) = 本人提供

神輿を担ぎに全国各地へ

企業が多く断られた。ようやく相手先の企業が決まったのは今年1月。「自市の特産やモチーフを使ったスイーツを提案した。この企画のモデルとなったのは2017年に藤原優人さん(資源P1年)が設立した、T-ACTのプロジェクトだ。つくば産のブルーベリーなどを使ったスイーツを開発し、商品化につなげていた。高校生の時にこの活動を知り、入学後に参加した。しかし、企画の大半はその時点で終了。商品開発には関与できず、不完全燃焼に終わった。その後、藤原さんにも相談した上で、企画を再スタートした。

高まることを考え、T-ACTの利用を決めた。T-ACTでは定期的な活動報告書提出の必要がある。「報告書を書く」と、現在達成できていない部分や、課題を把握できる。T-ACTのコンサルタントは色々な企業の事業を見ており経験豊富で、企画書や企業との交渉について相談できる。心強い存在で、加入してよかったと語る。

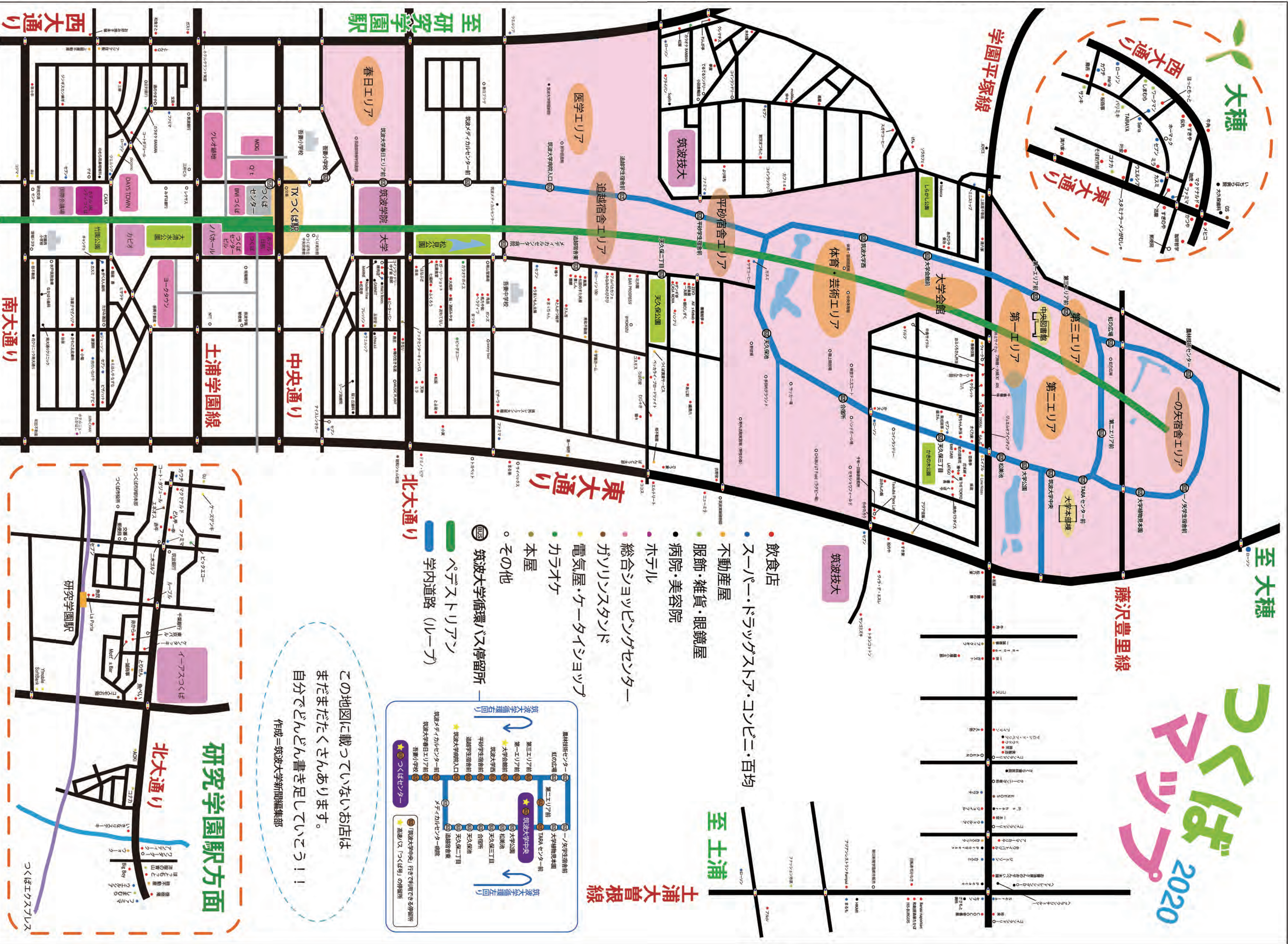
高まることを考え、T-ACTの利用を決めた。T-ACTでは定期的な活動報告書提出の必要がある。「報告書を書く」と、現在達成できていない部分や、課題を把握できる。T-ACTのコンサルタントは色々な企業の事業を見ており経験豊富で、企画書や企業との交渉について相談できる。心強い存在で、加入してよかったと語る。

企業と協力して食品開発

具体的なか身を詰め、11月の筑波大学学園祭で販売することを目指している。



将来の夢にむけて食品開発を企画した藤井さん(3月19日、5C棟で) = 遠子内早紀撮影



- 飲食店
- スーパー・ドラッグストア・コンビニ・百貨
- 不動産屋
- 服飾・雑貨・眼鏡屋
- 病院・美容院
- ホテル
- 総合ショッピングセンター
- ガリンスタンド
- 電気屋・カータイショツツ
- カラオケ
- 本屋
- その他

- 筑波大学循環バス停留所
- ペDESTリアン
- 学内道路 (ルーア)



この地図に載っていないお店はまだたくさんあります。自分でどんどん書き足していこう!!

作成=筑波大学新聞編集部

研究学園駅方面



筑波大とSDGs



SDGsの目標17項目

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	



(国連広報センターの資料から作成)

「誰一人取り残さない」を合言葉に、2015年の国連サミットで採択された世界共通の目標「持続可能な開発目標(SDGs)」だ。貧困の撲滅や気候変動対策、ジェンダーの平等など17項目の大目標が定められ、地球規模での対応が進む。中でも大学は、研究開発や人材供給、地域への貢献など多面的な役割を果たすことが求められている。研究学園都市の中核機関である筑波大の取り組みや学生たちの活動、今後の課題などを追った。

つくば市は18年6月、内「ごごもの未来」など五つの柱を重点分野とする「つくば市SDGs未来都市計画」を策定し、取り組みの具体化を進めている。多くの研究機関が集積し、外国人比率も高いつくば市だが、周辺地域の人口減少や少子高齢化、子供の貧困などの課題があり、計画は「SDGsの考えを取り入れ、持続可能な都市を目指す」ことを打ち出した。

筑波大も市の一員として、全面的に協力している。その一つが、昨年4月に発足した「つくばSDGsパートナーズ」だ。持続可能なまちづくりに向け、市と共に活動する個人や団体を集めるプロジェクトで、個人会員となるには市が筑波大に発信している。

筑波大の現状

学長補佐室長の池田潤教授(人文学部)に筑波大のSDGs推進の現状や強みなどについて聞いた。

SDGsに関する筑波大の取り組みの現状は、研究者が持つ問題意識は17あるSDGsの目標のいずれかに必ず結びつたため、基本的に各自で取り組みを進めている。ただ、学がSDGsに取り組む姿勢を見せることは学生や教

大と共催する「つくばSDGsパートナー講座」の受講が必要となる。講師の多くを筑波大の教員が務め、つくばの水環境や多文化共生などSDGsに関するテーマで講演することもあるという。今年3月現在、234人の個人会員と43の団体会員がいる。

また、筑波大人文学部系は市の協力を受け、藝文学苑つくば教室(つくば市吾妻)で、18年から全5回の「つくばSDGsマイスター講座」を開いている。市内の経済格差問題などを紹介し、受講者には筑波大から「つくばSDGsマイスター」の称号を授与している。

青木三郎・人文社会学系は「持続可能な社会を目指す」をテーマに、イバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターを中心に展開する取り組みだ。その特色は「ダイバーシティ」を男女共同参画やジェンダーだけでなく障害を持った学生や教職員への配慮も含めて広くとらえたことだ。

今後の課題

大学にSDGs推進の司令塔となる部署がなく、現在は学長が中心となってSDGsを推進している。推進室の設置は今後の検討課題だ。

国連グローバルコンパクトは、市民一人当たりの温室効果ガス排出量を30年までに13年比で26%削減する目標を掲げている。実現に向けては、大学や研究機関が持つ低炭素技術の導入や研究機関からの排出削減など「オールつくば」での対策が欠かせない。筑波大は水素やバイオマエネルギーの導入で市とも連携して研究を進め、大学全体の温室効果ガス排出量を21年までに13年比で12・7%削減する計画だ。

筑波大生発のSDGs推進

SDGsは世界共通の目標だ。日ごろの学生団体の活動もSDGsの達成につながっている。将来を担う筑波大の学生たちの取り組みは多岐で、幅広い。

育児・研究の両立

筑波大育児支援会は、院生ら7人。運営する育児室(3畳)は総合研究棟D学生への支援拡充を大学に求める活動を進める。出産や育児の負担が大きい女性や育児の負担が大きい女性や育児の負担が大きい女性

約10人と、豊後ゆかりの森院生ら7人。運営する育児室(3畳)は総合研究棟D学生への支援拡充を大学に求める活動を進める。出産や育児の負担が大きい女性や育児の負担が大きい女性

北原有唯さん(ケア3年)が設立した。運営する育児室はその1年前、北原さんが所属するヒューマン科学専攻の専攻長に提案し、設置が実現した。それまで学内には育児室が無く、プライバシーの確保が必要な搾乳や授乳が難しかった。北原さんは「子育て学生への支援が充実すれば、研究時間の確保もしやすくなる。大学の理解が進めば、当事者の意見を集め、伝えていきたい」と話した。



授乳や搾乳ができる育児室を紹介する北原さん(3月11日、総合研究棟D) = 後藤佳佳撮影

子供にSDGs普及

2年前に発足した筑波大の学生団体「BLUE ONE BEAT」は、小中高生らにSDGsの理念や内容を広める活動に取り組む。

メンバーは6人。昨年7月からは、小学校高学年を対象にした県教育委員会などの事業「いばらき子ども大学」に計3回参加し、SDGsの授業をした。項目ごとの基本的な内容を紹介した後、児童に17目標を大事だと思順に並べた。SDGsを自分



自作のテキストでSDGsを紹介する学生ら = 村上達哉さん提供

吃音症に向き合う

筑波大の学生団体「ゆうゆう会」は、毎月第3日曜日に吃音を持つ中高生の交流会を開く。15人のメンバーの多くも実は吃音の当事者だ。中には言語聴覚士の資格を持つ学生もおり、自らの体験を踏まえた専門的なサポート体制を整えている。取り組みを通じてSDGsの「すべての人に健康と福祉を」と「質の高い教育をみんなに」の達成に貢献することを目指す。

吃音を持つ副代表の遠藤優さん(医学2年)は、過去に自分だけが吃音だと考えたが、一人だけではない経験が、当事者同士が交流する場を設けることで、悩みを軽減できる」と活動の意義を強調する。

交流会では、小学生と中学生を分けて対応する。小学生とは、当事者同士の交流を促すため、カードゲームなどを使ったレクリエーションをする。中学生とは、レクリエーションに加えて、吃音の理解がまだ社会に広まっていない。子供たちが健全な学校生活を送れるよう支援していきたい」と話した。

SDGsの推進

「働きがいも経済成長も」の達成には「ジェンダーの平等や一人ひとりの目標も同時に達成しないといけないなど、各項目は互いに関係している」という声が多く上がった。

SDGsを身近に感じてもらうため、児童には日常生活や地元との関連を調べ自由研究を出した。昨年9月に、筑波大サテライトオフィス(つくば市吾妻)で調査内容の発表会を開き、児童2人が発表した。阿見町から来たという児童は、誰でも簡単に実践で

ションに加え、参加費をそれが吃音に関する悩みを話して共有する。メンバーは個人的な体験も踏まえ、悩みに対しアドバイスする。

代表者で吃音当事者の澤井雪乃さん(国前期2年)によると、子供たちは学校のクラスで発表や音読がある時に吃音をどう説明するかなど、学校生活に関わる悩みを抱えている場合が多いという。これらに対し、吃音があることをカミングアウトしたおかげで不安が減ったなどの体験を話す。

交流会では保護者との座談会も設けられ、メンバーが交流を通して把握した子供の状態などを報告。自身が親にかけてもらったうれい言葉などを紹介し、保護者と一緒に子供への接し方を考える。

遠藤さん

「どもった時に周りの人から不思議がられることが多いなど、吃音の理解がまだ社会に広まっていない。子供たちが健全な学校生活を送れるよう支援していきたい」と話した。

遠藤さんは「どもった時に周りの人から不思議がられることが多いなど、吃音の理解がまだ社会に広まっていない。子供たちが健全な学校生活を送れるよう支援していきたい」と話した。

大学の役割

国連大学上級副学長、水文学の観点からSDGs研究を進める沖大幹・東京大教授に、SDGs達成に向けた大学の役割を聞いた。(聞き手・國井俊介)



沖大幹教授

文化や芸術も目標にして

コロナウイルスの世界的な感染拡大で実感したように、グローバル化した社会には、世界が一体となって問題解決に取り組むSDGsが必要だ。達成に向け、大学は二つの役割を担う。一つ目は知の拠点としての役割だ。専門的な知識を持った研究者が集まり、共同研究によって、社会が抱える課題に速やかに解決策を提示する。また、その地域の産業の興亡などを同時に進行で長期間観察すれば、地域の語り部として大局的に問題に向き合える。

筑波大研究者の取り組み

SDGsの理念を実現するための鍵となるのが研究開発だ。筑波大でも、温暖化の将来予測や安定した食料供給につながる農業の開発などの研究が進む。

環境に優しい殺虫剤

丹羽隆介教授(生存ダイナミクス研究センター)ら

害虫のみに作用



開発予定の殺虫剤は、害虫だけに作用する環境に優しい殺虫剤の開発を進めている。従来の農業用殺虫剤は、狙った害虫以外にも影響を及ぼすことがあった。特定の害虫にだけ作用する殺虫剤ができれば、生態系の保全にも貢献する。



(丹羽教授への取材を基に作成)

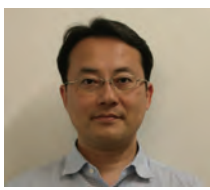
熱中症リスクを予測

二酸化炭素(CO2)など温室効果ガスの排出削減を進めても、現状では一定程度の気温上昇は避けられない見通しだ。将来を予測するプログラムを開発し、適切な対策を取ることが今から求められる。

都道府県別の対応可能に

研究センターなどの研究グループは、文部科学省の「気候変動適応技術社会実装プログラム」の一環で、都道府県別の夏の気温と熱中症患者の搬送数を予測するプログラムを開発した。

Hello! 先端研究

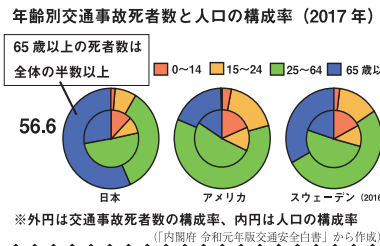
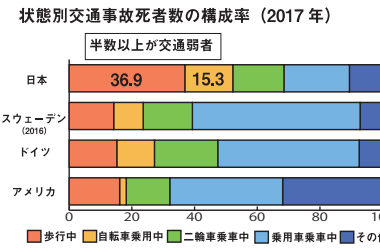


市川政雄教授

運転免許の更新時に認知機能の検査が導入された後も、高齢運転者による事故は減っていないばかりか、75歳以上の交通弱者の死傷率(自動車乗車中か歩行中)の上昇を招いた。こんな分析結果を市川政雄教授(医学医療系)らの研究グループがまとめた。認知機能検査の在り方に二石を投じる研究として、大きな注目を集めている。

認知検査は事故抑止せず 科学に基づく交通政策を

認知機能検査制度は、道路交通法の改正に伴い2009年6月に導入された。高齢運転者の事故を減らす狙いがある。75歳以上の運転者は免許更新時に、記憶力や判断力を測定する検査を受けることを義務付けられた。市川教授らは検査制度の効果を検証するため、全国の交通事故・外傷データ(05年1月から16年12月まで)を分析した。



具体的には、免許保有者当たりの交通事故発生率と人口当たりの事故による死傷率を70歳未満と75歳以上の各年齢層で男女別に算出し、その変化を統計的手法を用いて解析した。その結果、検査対象で一巡した12年6月以降の

手紙



日揮グローバルヤンゴン事務所長 菅原 勉

「中国語が話せるサッカープレイヤー」。就活中の私のキャッチフレーズだ。建学8年目の筑波大、また新しい学園都市は、自分で動けば、何かを創り出せる余地が多く残っていた。私も様々なことに首を突っ込み、全てが人生の肥やしになっているのだから、特に中国語の習得と、サッカーの世界で新しいことを始めた経験は、今の私の土台となっているのだ。ここで紹介したい。人文学類で中国史を専攻していた私は、深い考えもなく中国語を履修した。1年生の夏休み、平砂宿舎にこもって中国

一歩踏み出せば世界広がる

2年生の夏休み、今度は中国留学から専攻の先輩が帰国してきた。豪快な性格の彼が語る中国留学の話は、私を強く中国に惹きつけた。そして、3年生の夏休み、北京に1か月の語学研修に行ってみた。日本とのあまりの違いに驚き、帰国後は二度と中国を歩かなくとも、中国の土台となっていた。だが、なぜかすぐに長期留学の試験に申し込み、あっさり合格してしまっただけでなく、クラブで育ったメンバが活動を続けてくれる間に、現在ミャンマーに勤め、現在ミャンマー

が、残念ながら数年前に活動が止まってしまっただけでなく、生活全てにおいて日本の5倍の充実度であったと言えよう。社会科教員を目指していた私は、自分の知っていた「社会」が本当に狭いのだと悟り、修士への進学、企業への就職に進路を変えたのだ。一方、同好会に所属していたサッカーでは、周囲を巻き込んで(迷惑をかけて)色々な活動を始めた。3年生の時からは少年サッカークラブのコーチに熱中。教子の卒業後は、中学生だけでなく、蹴球部、同好会の仲間、地元の人達に声をかけて地域密着型クラブ「筑波学園バルパロス」を結成した。我々大生が筑波を離れてからも、クラブで育ったメンバが活動を続けてくれる間に、現在ミャンマー

今、私の人生を豊かにしてくれている中国語とサッカーだが、思い返せば、筑波の地で、自分から一歩踏み出したことをきっかけとして広がった世界である。皆さんも、ちょっと勇気を出して、新しいことに向かって自分から動いてみてはどうだろうか。筑波は、それが許されることだと思ってる。(昭和63年度地域研究科修了)

世界目指し海外チームと契約 吉田守一

筑波大男子ハンドボール部に所属する吉田守一(体専2年)が、1月にポーランドのハンドボールリーグ「タルヌフ」と正式契約した。契約期間は2020年5月まで。契約に伴い、現在は大学を半年間休学しており、部活は休部中。海外挑戦のきっかけや苦労、今後の抱負を聞いた。

(聞き手・國井俊介)



タルヌフの体育館で活躍を誓う吉田=本人提供

海外挑戦のきっかけは、レベルの高い選手が多く、なかなか試合に出場できないが、フィジカルの強さをポーランドリーグでも通用していると思う。良いポジションを確保してディフェンスをかわし、シュートを狙っていた。出場機会を得るため、がむしゃらに練習に励んでいる。

海外生活での苦労することは、ポーランドの食事は、ご飯の上に甘いヨーグルトがかかっているものなど、日本人の口に合わないものが多い。しかし、食事は体を支える上で重要なので、栄養のバランスを考え、しっかりと食べている。

ポランドの食事は、ご飯の上に甘いヨーグルトがかかっているものなど、日本人の口に合わないものが多い。しかし、食事は体を支える上で重要なので、栄養のバランスを考え、しっかりと食べている。

強みのフィジカル さらに進化へ

今後の抱負は、ポーランドリーグの名をとどろかせるような選手になりたい。ポーランドリーグの選手は日本人と比べて体格が大きい。彼らに負けないように筋トレなどを重ね、さらにフィジカルを強化したい。

東京五輪に向けての意気込みは、東京五輪出場は日々の練習などで常に念頭に置いている目標だ。日本代表

全日本ラート選手権

堀口 2年ぶり総合優勝



斜転の演技をする堀口(1月26日、つくばカピオで)

【つくばカピオ】つくば市竹園で加藤優花(国際総合学類3年、写真も)第25回全日本ラート競技選手権が1月25、26日に行われた。女子は筑波大の堀口文(体専系・特任助教)が直転部門、斜転部門を制し、個人総合優勝した。堀口の総合優勝は2年ぶり。跳躍部門では松浦佑希(体科4年)が優勝した。男子は高橋晴彦(平成24年度体育専攻修了)が直転、斜転、跳躍の3部門全てで優勝し、個人総合で8連覇を果たした。

体操



ラートは2本の輪を並行につなげた器具を回転させ、様々な技を繰り広げるスポーツ。大会では直転部門・斜転部門・跳躍部門の3部門で、技の難易度や完成度などが争われた。

堀口は直転部門と斜転部門の演技を事前の構成通り終えた一方、跳躍部門で披露する技を一伸身宙返り1分の「ひねり」から「伸身宙返り2分の「ひねり」に変更し、難易度を落とした。前日の練習で調子が上がらなかつたためだが、大きなミスなくすべての演技をまともに総合優勝に仕上げた。

シード権獲得目指す 箱根駅伝報告会



第96回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)に出場した筑波大陸上競技部の男子駅伝チームが2月18日、つくば国際会議場(つくば市竹園)で報告会を開いた。弘山勉監督(筑波大・准教授)や本戦に出走した選手らが出席。関係者約200人を前に、最下位に終わった今大会の反省と今後の抱負を語った。

報告会では予選大会本戦の動画が上映され、弘山監督や選手らが参加者とともにレースを振り返った。続いて弘山監督は「本戦出場を目指していた段階から多くの応援や支援をいただいた。今年も本戦に出場



報告会に臨む選手たちと弘山監督(2月18日、つくば国際会議場) = 西村大祐撮影

ATHLETICS AWARDS

学業や競技の優秀学生を表彰

筑波大アスレチックデパートメント(AD)に所属し、学業や競技で特に優れた成績を挙げた学生を表彰する「TSUKUBA OWLS ATHLETICS AWARDS」が2月22日、ホテルグランド東雲(つくば市小野崎)で開かれた。昨年に続く2回目の開催で、最優秀選手(MVP)にあたる「学生アスリートオブザイヤー」に男子ハンドボール部前主将の山田暁(令和元年度体育専門学群卒)が選ばれた。式にはADに所属する硬式野球部、男女ハンドボール部、男女バレーボール部の選手やAD関係者など計約200人が出席した。ドレスコードはカジュアル。エレガンスで、選手たちは普段とは違っておしゃれな装いで会場に集った。

表彰対象はGPA(学業成績平均)3.2以上を達成していることが前提。MVPは学業成績や大会成績、部への貢献などを総合的に評価して決める。

▽学業成績優秀者に贈る「オールアカデミックアワード」▽大会で個人賞を受賞した選手に贈る「オールアスレチックアワード」▽チーム改革などを推進した学生を表彰する「スペシャルアワード」の3部門と合わせ、この日は計23人の選手が表彰された。審査員に加わった佐藤社二郎・ADアドミニストレーターは、山田選手のMVP選出理由について「主将としてチームをインカレ優勝に導いたことや、練習時間を週20時間までに制限するなど練習メニューの効率化を主導したことなどを評価した」と説明した。

山田選手は「周りの選手に支えられて来た1年だった。部全体を代表した受賞だと思つて、賞に恥じない行動をとりたい」と受賞の喜びと今後の抱負を語った。



MVPを受賞する山田選手(左)(2月22日、ホテルグランド東雲で)

表彰基準のGPA3.2はADに所属する運動部員の平均値に相当する。山田晋三・AD副アドミニストレーターは「学生の身分である学業を十分に取組んだ上で、選手として活躍してほしい。ADの理念である競技と学業の両立を学生たちと共有していきたい」と話している。(國井俊介 写真も)

陸上

伝でのシード権獲得を目指すこと、今回の悔しさを晴らしたい」と感謝と意気込みを語った。

また、主将の大土手高(体専4年)は「最下位となり、至らない部分を痛感させられる大会だった。来年に向けて個々の力を上げていき、最終的には箱根駅伝でのシード権獲得を目指したい」と躍進を誓った。

(大和祐菜)障害科学類2年、16面に関連写真あり

対外活動 自粛も

【一面参照】大学側からの課外活動でのイベント延期や中止の要請を受け、筑波大の各運動部や運動サークルでも合宿や練習試合などの対外活動を見直す動きが続いている。

いずれも3月7日に開催予定だった「つくば体操フェスティバル」(体操部など共催)、「ダンス部公演」は中止された。硬式野球部が例年、春季休業中に実施

成していることが前提。MVPは学業成績や大会成績、部への貢献などを総合的に評価して決める。

▽学業成績優秀者に贈る「オールアカデミックアワード」▽大会で個人賞を受賞した選手に贈る「オールアスレチックアワード」▽チーム改革などを推進した学生を表彰する「スペシャルアワード」の3部門と合わせ、この日は計23人の選手が表彰された。審査員に加わった佐藤社二郎・ADアドミニストレーターは、山田選手のMVP選出理由について「主将としてチームをインカレ優勝に導いたことや、練習時間を週20時間までに制限するなど練習メニューの効率化を主導したことなどを評価した」と説明した。

山田選手は「周りの選手に支えられて来た1年だった。部全体を代表した受賞だと思つて、賞に恥じない行動をとりたい」と受賞の喜びと今後の抱負を語った。

表彰基準のGPA3.2はADに所属する運動部員の平均値に相当する。山田晋三・AD副アドミニストレーターは「学生の身分である学業を十分に取組んだ上で、選手として活躍してほしい。ADの理念である競技と学業の両立を学生たちと共有していきたい」と話している。(國井俊介 写真も)

筑波大は今年2月、モンゴル陸上競技連盟からの事前キャンプの依頼を受け、3月中旬に受け入れる方向で調整していた。

しかし、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、モンゴル政府は日本に滞在歴のある外国人の入国を禁止。日本ーモンゴル間の全定期便が運航を停止した。その影響で、3月上旬に、同連盟からキャンプを中止するとの連絡が入った。キャンプにはモンゴルのマラン選手2人、コーチ1人が参加予定だった。(加藤優花)

自転車 世界選手権 日本女子初優勝



写真: More CADENCE <http://morecadence.jp>

自転車のUCIトラック世界選手権が2月26日から3月1日までベルリン(ドイツ)で行われ、梶原悠未(体育P1年)が女子オムニウムで日本初となる金メダルを獲得した。

(遠藤内早紀)

「頂点に立ち続けたい」

自転車

オムニウムはスクラッチ、チームタイムトライアル、スプリント、ポイントレースの4種類のレースの総得点を競う。各国から代表選手1人ずつ、総勢24人が参加した。

1種目のスクラッチでは、トラックを30周(7.5分)走り、その最終順位で競う。レース終盤、梶原は先頭集団に入り、残り1周で2位につけた。最後の直線でバレンテ(アメリカ)を抜いて先頭に立つ作戦通りにレースを進め、この種目を1位で終えた。

乗り換えレースに戻り、3位に食い込んだ。最終種目のポイントレースは、総距離20キロのうち2キロの通過順で得点が与えられ、合計点を競う。梶原は3種目を終えた時点で2位の20点もの大差をつけ、暫定1位。逆転されないうち、上位集団に位置を取り続け、日本史上初の優勝を果たした。

78キロ超級 糸田が準優勝

柔道

(体専4年)が準優勝を果たした。また、21歳以上63キロ級で白石ひかる(同3年)が5位となった。

ベルギー国際大会がエルスタル(ベルギー)で2月1、2日に行われ、21歳以上女子78キロ超級で糸田晴乃が優勝し、2回戦ともに選手権でも勝ち、世界のトップに立ち続けたい」と語った。

合わせた二本勝ち。その後の本選も、小外刈と大外刈で2回戦まで勝ち抜いた。準決勝では、ハイメ(フランス)と対戦し、互いに譲らず延長戦に突入した。その約3分後、小外刈を決め優勢勝ちを収めた。決勝では2012年のロンドンでは5輪で金メダルを獲得したオルティス(キューバ)と対戦し、相手の横車で一本を奪われ準優勝となった。

大学生活や将来を表現 卒業ダンス公演

ダンス



「新時代—そこに僕らが映る—」最後の場面で客席側を振り向く4年生=西平桂太郎提供

【筑波大学会館で加藤優花II国際総合学類3年筑波大舞踊研究室が主催する令和元年度卒業ダンス公演が2月5日に行われた。体育専門学群開設の授業「ダンス実技理論・実習」の受講生や卒業生、ダンス部員など300人以上が出演し、2部構成で24演目の創作ダンスを披露した。卒業生や市民ら約3500人が訪れ、舞台は熱い声援に包まれた。

第一部では授業を受講した1年生76人が、大学入学からの1年間を表現した創作ダンス「a run in (アランイン)」季節を巡る」を展開。最後は全員がステージに登場した。中腰で足を踏み、元氣あふれるダンスで会場を沸かせた。その後、ダンス部の遺

唐使一身を以て知を求め「」などが演じられた。第二部の冒頭では、2年生が「ぼくらは未来に出会った。」を統一テーマに、大学卒業後の進路や体験を創作ダンスで表した。スーツ姿で電車のつり革につかまる社会人を模したり、机などの小道具を用いて教師を表現するなど、計7演目を披露した。そのうち、5組の男女の恋模様を表現した演目「踊る抱き合い大作戦」に出演し、ブーケをキヤッチする役を演じた花村春香さん(体専3年)は「自分の出番はあつという間に終わってしまった。来年も参加したいと話した。公演の最後は4年生有志による「新時代—そこに僕らが映る—」。学生たちが部活動に励んだり、就職活動を経験したりする中で、自分の個性を見つけ、新たな道に踏み出す姿を描いた。女性の出演者がほかの出演者の背中の上を渡り歩くなど、独特な構成で観客を魅了。終盤には「ぼくのこと」という曲にのり、全員が振り付けを合わせたダンスを踊った。最後は全員が横一列に並び、観客に背を向け、振り返った。会場は歓声に包まれた。

実行委員長の齋藤瀬奈さん(体育P1年)は「出演者としての練習と運営の両方から学んだ。公演を立派な大舞台だったが、公演を終え達成感を感じている。来年は実行委員会を支える側に回りたい」と語った。

スポーツの顔

バスケット

高校時代に2度の全国制覇を達成した。昨年度は1年生ながらもポイントガードとしてオフエンスの司令塔を務め、チームの勝利に貢献。U-19日本代表にも選ばれた。



U19 ワールドカップ日本代表 池田 沙紀 (体専2年)

高身長が有利とされるバスケット界で、身長159センチの小柄な体格を生かした素早いドライブで敵陣をかいくぐり、シュートを決める。ボールのハンドリングとスピードを強みにするだけでなく、どこからでも打てる正確なシュートも持ち味だ。

神奈川県出身。両親や兄のプレーを見て、小学1年の時から競技を始めた。チーム全員で目標に向かって練習することや、練習するほど試合で成果を発揮できることに

小柄さ活かし頼られる存在へ

送った。「一時は練習に對してなげやりになった。だが、これ以上悔しい思いはしたくない」と思い、猛練習を重ねた。身長が低い分、相手にプレッシャーをかけるディフェンス、ドライブとシュート力を磨いた。その練習が実を結び、翌年のインカレ。1年生ながら要所で得点に絡むプレーをみせるも、2回戦で敗退した。「4年生を勝たせられず悔しいが、リベンジは次の代でしかできない」。悔しさを味わう一方で、得たものも大きい。インカレの前哨戦でもあるリーグ戦で

決まれば悔しい思いをするが多かった。試合後半でも疲れはないスタミナを身につける練習を重ね、12月のウィンターカップで優勝。再び全国制覇を果たした。機動力を生かし、コート上の選手全員が得点する筑波大女子の試合を見て、「ここなら自分の強みであるドライブとシュート力を生かせる」と進路を決めた。

「これまで、周りから頼ってもらいながら、要所でシュートを決めきれずに負けてしまう場面が多かった。試合で自信を持つために、普段の練習では人一倍強い気持ちで臨んでいる。

頼られることに対するプレッシャーは感じるものの、頼られるうれしさの方が強いという。プレッシャーを楽しみ、武器にする努力家の挑戦は、これからも続く。(加藤優花II国際総合学類3年、写真も)

追越学生宿舎でぼや

昨年12月 学生の冷温庫が焼失

昨年12月7日午後、追越学生宿舎24号棟1階の居室・冷温庫から出火するぼやがあった。冷温庫が焼失し、火はまもなく消えた。ついで市消防本部(同市研究学園)によると、出火原因は分からないという。宿舎にいた学生が一時避難する騒ぎとなったが、けが人はいなかった。

(廣間菜月)

24号棟は鉄筋コンクリート造り4階建て。単身用居室が100室(各室約10平方メートル)あり、学生生活課によると、7日午後4時56分に火災報知器が発報し、宿舎管理事務所の職員と警備員が現場に駆け付け、消防は午後5時10分に現場に到着。同棟に入居する学生は消防の指示で一時避難した。到着時点で冷温庫4時35分ごろと推定している。出火当時、入居者は不在だった。

現場では冷温庫本体が燃え、同棟によると、冷温庫は入居者がインターネット通販で購入した新品で、この日午前1時ごろから使い始めたばかり。現場の状況や原因はまだ不明だ。

関係者の証言などから、市消防本部は出火時刻を午後4時35分ごろと推定している。出火当時、入居者は不在だった。

現場では冷温庫本体が燃え、同棟によると、冷温庫は入居者がインターネット通販で購入した新品で、この日午前1時ごろから使い始めたばかり。現場の状況や原因はまだ不明だ。



ぼやが起きた居室。すす煙で黒く汚れている。=学生生活課提供

学生は同日から別の居室に移動した。居室は約100万円かけて修繕するが、ベッドや机などの備品を入れ替えて再び学生が入居できる状態にするかは検討中だ。

学生宿舎では3年前、机に置かれていた拡大鏡が落下しての役割をし、日光を机の上の書類に集めたことで火が出た事例があった。同棟の担当者は、今回のぼやは入居者が不適切な器具の使い方をしていたわけではないとした上で、「石油ストーブや卓上コンロを部屋で使用しないなど宿舎の決まりを守り、火災が起きないように注意してほしい」と呼びかけた。

また、つば市消防本部予防広報課の担当者は火災予防策として「コンセント付近を定期的に清掃する。外出時に不要な電源を切り、コンセントを抜くなどの対策で火災のリスクを減らすことができる」と話した。

筑波大生のロケット海から空へ

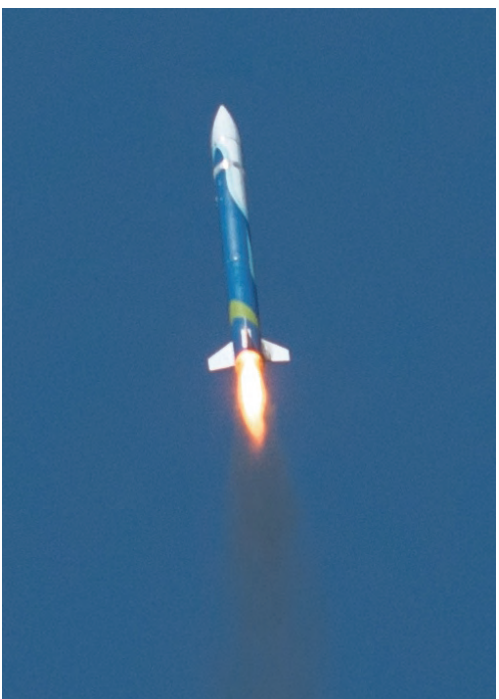
学生団体「STEP」

茨城の海から、筑波大生のロケットが宇宙へ。筑波大の理工系学生14人でつくる筑波大学宇宙技術プロジェクト「STEP」の製作した小型ロケットが2月24日、茨城県沖約80キロの洋上で打ち上げられた。発射後、ロケットは約20秒の間高度を上げ、打ち上げは成功した。計測機器が故障したため目標の高度4キロを達成したかは不明。だが、上昇時間や自視の結果から、高度3〜4キロに到達したとみられるという。筑波大生が洋上でロケットを打ち上げたのは初めて。

(遠子内早紀)

打ち上げた小型ロケット「ンバー」の全費とO・B・O・Gは全長2.85メートル、重さ17キロ。の寄付で集めた。

06年から活動をしているSTEPは、これまで16機のロケットを製作して、今年2月に完成した。費用は約80万円です。このロケットを製作して、今年2月に完成した。費用は約80万円です。



洋上から打ち上げられ、高度を上げるロケット=筑波大学宇宙技術プロジェクト「STEP」提供

今回の打ち上げは、同社からSTEPに声掛けがあった。人工衛星の小型化が進み、世界的に小型ロケットの需要が増大している。射場の確保が課題の一つで、洋上発射は有力な手段として注目され始めている。

代表の相沢慧さん(工学)

陶芸で人のつながりを 「結の器プロジェクト」

東日本大震災を契機に、陶芸を通じて人と人とのつながりを作るプロジェクト「結の器プロジェクト」の作品展が3月4日から20日まで、関町二丁目(つくば市二の宮)で開かれた。プロジェクトは、筑波大の齋藤敏寿准教授(芸術系)の呼びかけで、参加者が作陶した食器を使って食事会を開いたり、焼き物用のパーツを交換するなどして交流を深めてきた。当初は、参加者が作陶した食器を使って食事会を開いたり、焼き物用のパーツを交換するなどして交流を深めてきた。当初は、参加者が作陶した食器を使って食事会を開いたり、焼き物用のパーツを交換するなどして交流を深めてきた。



展示された器(2月11日、つくば市二の宮で)

2012年に始まり、市民向けの作陶ワークショップなどを開催してきた。会場にはワークショップで参加者が作った焼き物のほか、7年間の活動を振り返るパネルも設置された。

齋藤准教授は「ワークショップの何気ない会話から、報道では分からないようなつながりが生まれてきた」と話した。(廣間菜月 写真も)

平砂浴場値上げ

平砂浴場の利用者は、2008年度に1日平均696人だった。だが、09年度に各宿舎にコインシャワー(1回100円)が設置されたことで利用者は激減した。宿舎への入居者自身が減っていることもあって、その後も減少傾向が続く。16年度には1日平均85人にまで落ち込んだ。

同課によれば、大浴場に入る習慣がない留学生が増えたことも、利用者減の一因と考えられるという。

(西村大祐、北川瑠菜)

現在は秋田県で8月に打ち上げる新ロケットの設計に取り組んでいる。相沢さんは「学生最高記録の正式な樹立を目指してこれからロケット開発に取り組みたい」と意気込んだ。

現在、秋田県で8月に打ち上げる新ロケットの設計に取り組んでいる。相沢さんは「学生最高記録の正式な樹立を目指してこれからロケット開発に取り組みたい」と意気込んだ。

みから生じる孤独感などを書き起こした。17歳で詩集300冊を初めて自费出版した。「日の前」というタイトルで、亡くなった祖母の死についての想いなどをつづった。

という雰囲気があり、友人から詩作をよからかわれた。大学では文学部に入学つもりだったが、モンゴル国立大の文学部に進学し、マーケティングを学んでいた。

同課は浴場の運営を継続する方針だが、設備は運用開始から46年が経過し、老朽化が進んでいる。予算面や利用者の減少の関係で大規模改修のめどは立っていない。

同課の黒岩直行主任は「コインシャワーが故障などで使えなくなった場合を想定すれば、浴場を残す意義はある。課外活動の後や、気分転換したい時にぜひ利用してほしい」と話した。

学生宿舎の共用浴場を巡っては15年度に「の矢地区と追越地区の浴場が廃止された。平砂浴場は料金を10円値上げする一方で、営業時間を短縮し、運営を継続していた。」

留学生の声

モンゴル
イルデネバット
(比較文化学類)

モンゴルの首都ウランバートル出身。比較文化学類に昨年4月に入り、日本の近代文学を学ぶ。幼い頃、就寝前に母からモンゴルの叙事詩や小説を読み聞かされてもらい、文学の面白さを知った。

14歳の時、作家になりたいと思った。きっかけは、学校の授業で「復讐」という小説に出会ったこと。主人公のオオカミが人間にひどい仕打ちを受け、最後は人間を殺してしまふ物語だ。悲劇的な展開に感情を揺さぶられ、自分も人の心を動かす作品を生み出した。



14歳の時、作家になりたいと思った。きっかけは、学校の授業で「復讐」という小説に出会ったこと。=学生生活課提供

だが、次第に「作家で食っていく」という考えを意識するようになった。通っていたのは理系の進学校。大学卒業後は企業に就職すべきという意見も多かった。

そんな中、ふと立ち寄った書店で、モンゴルの語訳された夏目漱石の『こころ』に出会う。語り手が「私から先生へと切り替わる構成や、恋愛や孤独の描き方に強ひかれ、一度は消えかけた作家になりたい」という思いが再燃し始めた。

日本文学への興味も強まり、図書館や書店で日本の近代文学作品を探し回った。しかし、モンゴル語訳された作品はなかなか見当たらない。「日本文学の魅力を母国の人にも伝えたい」と、将来は翻訳ができる作家になることを決意した。

日本の大学で文学を学びたいという気持ちから、モンゴル国立大の文学部に進学し、マーケティングを学んでいた。

同課は浴場の運営を継続する方針だが、設備は運用開始から46年が経過し、老朽化が進んでいる。予算面や利用者の減少の関係で大規模改修のめどは立っていない。

同課の黒岩直行主任は「コインシャワーが故障などで使えなくなった場合を想定すれば、浴場を残す意義はある。課外活動の後や、気分転換したい時にぜひ利用してほしい」と話した。

学生宿舎の共用浴場を巡っては15年度に「の矢地区と追越地区の浴場が廃止された。平砂浴場は料金を10円値上げする一方で、営業時間を短縮し、運営を継続していた。」

「発見もたらす」「物語」作りしたい

だが、次第に「作家で食っていく」という考えを意識するようになった。通っていたのは理系の進学校。大学卒業後は企業に就職すべきという意見も多かった。

そんな中、ふと立ち寄った書店で、モンゴルの語訳された夏目漱石の『こころ』に出会う。語り手が「私から先生へと切り替わる構成や、恋愛や孤独の描き方に強ひかれ、一度は消えかけた作家になりたい」という思いが再燃し始めた。

日本文学への興味も強まり、図書館や書店で日本の近代文学作品を探し回った。しかし、モンゴル語訳された作品はなかなか見当たらない。「日本文学の魅力を母国の人にも伝えたい」と、将来は翻訳ができる作家になることを決意した。

日本の大学で文学を学びたいという気持ちから、モンゴル国立大の文学部に進学し、マーケティングを学んでいた。

同課は浴場の運営を継続する方針だが、設備は運用開始から46年が経過し、老朽化が進んでいる。予算面や利用者の減少の関係で大規模改修のめどは立っていない。

同課の黒岩直行主任は「コインシャワーが故障などで使えなくなった場合を想定すれば、浴場を残す意義はある。課外活動の後や、気分転換したい時にぜひ利用してほしい」と話した。

学生宿舎の共用浴場を巡っては15年度に「の矢地区と追越地区の浴場が廃止された。平砂浴場は料金を10円値上げする一方で、営業時間を短縮し、運営を継続していた。」

新型コロナ影響広がる

課外活動・留学・就活……

【一面参照】新型コロナウイルスの感染拡大で大学生活にも影響が広がっている。佐藤副学長(学生担当)は、授業開始日までの課外活動でのイベントの延期や中止を要請し、多くの団体が活動を自粛した。4月以降の新生歓迎活動(新歓)の中止の発表も相次ぐ。海外留学中の筑波大生が帰国できない事例も発生し、春学期中の海外大学との交流事業が相次いで取りやめになった。また、3月に学内で予定されていた企業説明会も中止された。影響の現状を追った。(後藤佳佳)

新歓できず

学新歓Webを開設し、各団体の活動内容やSNSアカウントを掲載する。アカウンタを掲載する。

留学打ち切り

筑波大は春学期休業期間中に来国、カナダ、オーストラリア、フィリピンの4カ国で短期語学研修を主催する予定だったが、オーストラリア以外の研修は中止や中断となった。海外留学支援センターは、飛行機の欠航などのため、3月30日時点で少なくとも11人の日本人学生と45人の外国人留学生在が日本に戻れずいる。

2〜3月に実施予定だった八つの留学生受け入れ事業のうち、東南アジアや中央アジアからの受け入れ事業五つも中止され、187人が来日できなくなった。海外の大学に筑波大生を派遣する事業は一部を除き中止となり、200人以上の筑波大生が参加できなくなっている。留学

専門家に

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、学生はどう過ごせばよいか。災害・地域精神医学が専門の太刀川弘和教授(医学医療系)と公衆衛生学が専門の堀愛助教(同系)に聞いた。

生活リズムの乱れ注意



太刀川弘和教授

もはやかられるなかで、1人暮らしの大学生は生活リズムが崩れやすくなる。人間は、他者との会話や触れ合いでストレスを解消したり感情を制御したりする。人に会わず家に籠もる生活が続くと、それが難しくなり、うつ状態になる可能性も。これを防ぐには、直接

後に取得予定だった教育実習の単位を今年度中に取得できるか心配だ。就職は、参加予定だった企業のパンフレット配布会を3月3〜9日に開催。ウェブサイトで企業側から伝えられた採用情報などを随時掲載する。

企業説明会中止

3月1〜6日まで開催が予定されていた「筑波大学学内企業説明会」は、2月26日に中止が発表された。同説明会は筑波大主催の学内最大規模の就活イベントで、今年は540社が参加



パンフレット配布会に参加した学生ら=就職課提供

授業は濃厚接触の温床



堀愛助教

新型コロナウイルスは感染しても若年層は重症化する割合が非常に低く、若者が知らぬ間に感染源となることが懸念される。集団感染の連鎖を防ぐため、厚生労働省の専門家会議が示した「換気の悪い密閉空間」などの開催方式の変更が求められる。

図書館飲食スペース拡大

利便性向上求める声を反映

中央図書館内の飲食可能スペースが2月3日から試験的に拡大された。新たに3〜5階のラウンジでの飲食と閲覧室、研究個室、集会所への飲み物の持ち込みが可能になった。パソコンや視聴覚機器、1階の東京教育大学旧蔵書周辺は飲食禁止を継続する。利用状況に問題がなければ正式に拡大される予定だ。

持ち込み可能な飲み物は、倒しても容易にこぼれない密閉容器に入ったものに限定。ペットボトルや水筒は可だが、びん、缶、紙パック容器や蓋付きカップ類は不可。

みんなの学会

分野を超えた学生交流

学問分野の壁を超えて学生研究者が集い、成果を発表する「みんなの学会」が2月15日、ノバホール(つくば市吾妻)で開かれた。筑波大や聴覚、視覚障害者が通う筑波技術大など市内の学生らがつくる「つくば同館は飲食可能エリアのラウンジとリフレッシュコーナーに掃除用具を設置し、利用者に活用を促している。

「誰でも楽しめる学会」という理念のもと、会場では障害への配慮として、手話による同時通訳や文字通訳を映写スクリーンが用意された。延べ約150人が来場した。



「顔通」は、小学生対象の似顔絵を描くイベント「筑波大生と似顔絵を描こう！」が2月に開かれ、会場のつくば市役所には定員を超える23人が集まった。参加者に似顔絵を教えるのは、主催した筑波大生らの団体「つくばあーとどあ」の面々だ。



参加者と交流するメンバー(2月24日、つくば市役所)

「つくばあーとどあ」は、市民が交流できたりするイベントを開催するのが目標。団体設立のきっかけは、昨年の筑波大学園祭(雙峰祭)で開かれた「にがねやさん」芸術専らイベントでは、メンバーが10分で似顔絵を描くパフォーマンスを見た。また「福笑い」を用いて、顔の輪郭を図形に簡略化して捉えることと、目や口、鼻など顔のパーツを正確に配置する大切さを分かりやすく教

「今後もし子供たちにとってアートの入り口になるようなイベントを開催したい」と話す大森さん。夏休みには規模を拡大したイベントを予定しているほか、市内各所へ出張してイベントを開くことも考えている。

「その後、参加者はマツコ・デラックスやHIKARI A K I Nといった有名人の写真を基に、メンバーとともに似顔絵に挑戦。最後には家族や友人などの似顔絵を思い思いに描いた。

成果発表では生物や建築など異なる分野を研究する学生4人が登壇した。筑波をしたりして、画力向上にも助んだ。

大の鈴木佑弥さん(環境2年)は、新種の蜘蛛を発見した研究を発表。筑波大内で採取した見慣れない蜘蛛を全国から集めた標本と比較し、3年かけて新種だと突き止めたという。

来場した筑波技術大の卒業生は、「自分は耳が聞こえないが、手話通訳や字幕のおかげで楽しめた。知らない分野の話も聞いて貴重な体験となった」と話した。

主権者の横井知さん(社工専攻後期3年)は「異分野の学生同士で研究を伝え合うことは、分野横断的な視点を持つ上で意義。大卒や研究機関が多いつくば市の特徴を生かし、学生交流を活発にしたい」と話した。(後藤佳佳)

Who's Who?

アイドルコピーダンスグループ「Bombs!」の創設者

深津 里佳 さん (医学4年)



雙峰祭のステージに立つ深津さん=本人提供

昨年度の筑波大学園祭(雙峰祭)の雙峰祭ランプリ・パフォーマンス部門で最優秀賞を獲得したアイドルコピーダンスグループ「Bombs!」の創設者。結成1年目にして、大学生によるアイドルコピーダンス大会「UNIDOL(ユニドル)2019-winter」の決勝戦に出場し、グループを全国5位に導いた。Bombs!の活動のかわら、医師になるための勉強にも励む。

アイドルコピーダンスは、プロのアイドルの楽曲に合わせて踊るパフォーマンス。歌は歌わず、歌詞に合わせて口を動かして、アイドルさながらの表情や仕草で観客を楽しませる。「普通の大学生が、本物のアイドルのようにステージで誰かを笑顔にできることが一番の魅力と語る。根っからのアイドルオタクだ。高校2年の時には「仮面女子」というグループに夢中になり、地元の群馬県から東京・秋

葉原の劇場へほぼ毎週通い詰めた。目立たなかったメンバーが努力して人気を伸ばしていく姿に感動し、華やかなステージで輝くアイドルに憧れた。大学1年の時、筑波大で活動していたアイドルコピーダンスグループ「爆走☆ペDESTリアン」に加入。アイドルと同じようにステージで踊ることがうれしく、練習に打ち込んだ。その年のユニドル関東予選に出場したが、グループは人数減少で2018年3月に解散した。その後しばらくはアイドルコピーダンスから離れ、医学類の試験や課題に追われていた。だが「もう一度ステージに立ちたい」との思いが募り、大学2年の18年6月から2カ月で約20人を集め、雙峰祭限定のグループ「アイコプロジェクト」として参加した。ほぼ全員が初心者な上、短期間の練習でステージを完成させることは難しく、チームとして経験を積むことの

アイドルに憧れステージに「相手のことを考えて振る舞う」

重要性を実感した。正式に団体を立ち上げようと考えて、SNSや人づてに呼びかけてメンバーを集めた。そして昨年3月、アイコプロジェクトのメンバー5人を含む14人でBombs!を結成し、リーダーとなった。翌月に新入生が加入し、計25人で本格的な活動を開始した。大会前の練習は週4回。ダンスや表情の練習だけでなく、SNSでの宣伝や衣装製作など業務全体を指揮した。大会に出ないメンバーにも衣装や広報を担当してもらい、「Bombs!の一員として、頑張っているメンバーを支えてほしい」と伝えた。ステージを意識するのは「常に見られている」ということ。普通の大学生でも、ステージに立てばパフォーマンスだ。観客に思いきり楽しんでもらうため、曲の間も気を抜かない。「常に相手のことを考えて振る舞うことは、パフォーマンスとしても

医師の卵としても重要。この活動が将来に役立つのか悩む時もあったが、自分なりに意味を見出してから前向きになった。関東予選は12月、新宿ReNY(東京都新宿区)で開かれた。全国五つの地区予選の中で最も決勝進出が難しいといわれる激戦区だ。結果は12組中2位。念願の決勝進出を果たした。STUDIO COAST(東京都江東区)で行われた決勝戦では、全国から集まった観客約3700人の前で4曲を披露し、結果は5位となった。入賞は逃したが、結成1年目にして大きな存在感を見せた。先月でリーダーは引退し、2年生に引き継いだ。「今後は病院実習なども始まり忙しくなるが、6年生までステージに立てるのは医学生の特権。Bombs!がこの先何年も続く素敵なグループになるよう、ずっと支えていく」と語った。(後藤佳怡 社会学類3年)

次号は 5月25日(月) 発行予定です

卒業式・大学院学位授与式



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、規模を縮小して開催された=筑波大広報室提供

1面へ

学内総合

打楽器アンサンブル 筑打!



さまざまな音色の楽器で観客を楽しませるメンバーたち(2月2日、つくばカピオで)=遠子内早紀撮影

5面へ

学芸

箱根駅伝報告会



笑顔を見せる弘山監督(手前中央)と選手ら(2月18日、つくば国際会議場で)=大和祐菜撮影

12面へ

スポーツ

つくばあーとどあ



似顔絵描きに熱中する子供たち(2月24日、つくば市役所で)=梅津拓人撮影

15面へ

学生生活

編集後記

はすっかりほんでしまいました▼ただ、暗いニュースだけでもありません。筑波大が指定国立大学法人への指定を目指し、文部科学省に申請しました(2面)。

編集・発行

筑波大学新聞編集委員会

委員長 土井隆義(人文社会学系)

副委員長 佐藤勲(学生部長)

委員 菅谷純子(生命環境系)

委員 果樹園芸学(竹中佳彦(人文社会学系)教授)

委員 政治学

委員 筑波大学新聞編集部

編集長 鴨志田公男(筑波大学)

編集長 西村大祐(人文社会学系)

編集長 西村大祐(人文社会学系)

編集長 西村大祐(人文社会学系)

編集長 西村大祐(人文社会学系)

編集長 西村大祐(人文社会学系)

編集長 西村大祐(人文社会学系)

編集長 西村大祐(人文社会学系)

編集長 西村大祐(人文社会学系)

編集長 西村大祐(人文社会学系)

編集長 西村大祐(人文社会学系)